

令和3年度
(2021年度)

学生の葉

シラバス (授業要綱)

歯科臨床実地マニュアル

学籍番号

氏名

福岡医療短期大学

専攻科 口腔保健衛生学専攻

建学の精神

歯科衛生学に関する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学、保健福祉学の進展に寄与する

教育の理念

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、歯科衛生士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備え、口腔医学に基づいた歯科医療を実践できる有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」（学則第1条）ことを使命とする。

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成が強く求められている。これらの社会的要請に応えるために、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた歯科衛生士の養成を目指す。

福岡医療短期大学 歯科衛生学科・専攻科

沿革と教育目標

本学の専攻科は平成11年4月、専攻科歯科衛生学専攻（1年制、定員10名）として開設された。当時は、独立行政法人 大学評価・学位授与機構の認定専攻分野に歯科衛生学の分野が設置されていなかったため、本学が独自に「口腔保健学」分野の設置を交渉し、平成20年度より全国初の口腔保健学分野の認定専攻科として再スタートした。平成20年度～令和2年度までに243名の修了生に学士（口腔保健学）が授与されている。

歯科医療現場では歯科衛生士が口腔疾患の予防処置や保健指導を主体的に行う場面が増え、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、多様な臨床例に対応できる問題解決能力、情報処理能力や科学的思考力が求められている。また、高齢患者に対応するために、口腔介護、全身疾患、社会福祉に関する知識、看護や介護の精神を学ぶことも必要である。本専攻科は、大学評価・学位授与機構の認定専攻科であり、歯科衛生学科の3年間に学んだ基礎的知識と技術の上に、さらに専門的知識と高度な技術を教授し、応用能力を備えた歯科保健医療の指導者となり得る、質の高い口腔保健学士の育成を目標とする。

入学者受入れ方針（アドミSSION・ポリシー）

1. 口腔保健衛生に深い関心を持ち、保健・医療・福祉に高い目的意識を持つ人
2. 歯科衛生士として必要な知識と技術を修得している人
3. 口腔保健衛生学への科学的探究心を持ち、臨床・研究に意欲のある人
4. 医療人としての倫理観と幅広いコミュニケーション能力のある人

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 歯科衛生士の専門科目を基礎として、より実践に即した専門知識と技術の習得
2. 全身疾患と口腔との関連や有病者への対応の習得
3. 多職種との協働・連携による口腔介護・口腔リハビリテーションの習得
4. 国際化社会に対応しうるコミュニケーション能力の涵養
5. コンピュータを使用した情報処理能力やプレゼンテーション能力の涵養
6. 学士（口腔保健学）取得を目標とした教育・指導

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 医療人として高い倫理観を有する
2. 専門分野の高度な知識・技術を修得し、医療・福祉の場で実践できる
3. 科学的根拠に基づいた口腔保健衛生を実践できる
4. 国際化社会に対応できるコミュニケーション能力を有する
5. コンピュータを使用した情報処理能力およびプレゼンテーション能力を有する
6. 歯科衛生士の指導者としての自覚を持つ

専攻科口腔保健衛生学専攻

科 目	科目番号	単位数（時間数）			摘 要	修 得 すべき 単位数	備 考
		1 年 次		計			
		前期	後期				
英 会 話	HP211001	(30)	(15)	3(45)	必 修	3	
研 究 方 法 論 *	HP212002	(30)		2(30)	選 択	2	1 科目 2 単位選択
情 報 処 理 演 習 *	HP212003	(30)		2(30)	選 択	2	
社 会 保 障 特 論 **	HP212101		(30)	2(30)	選 択	2	1 科目 2 単位選択
老 人 ・ 障 害 者 福 祉 論 **	HP212102		(30)	2(30)	選 択	2	
健 康 の 科 学	HP211103	(30)		2(30)	必 修	2	
歯 科 看 護 学	HP211104		(15)	1(15)	必 修	1	
口 腔 介 護 特 論	HP211201		(30)	2(30)	必 修	2	
口 腔 保 健 管 理 学	HP211202	(30)		2(30)	必 修	2	
先 端 臨 床 歯 科 学	HP211203	(30)		2(30)	必 修	2	
専 攻 研 究	HP211204		(60)	4(60)	必 修	4	
地 域 口 腔 介 護 実 習	HP211205		(45)	1(45)	必 修	1	
歯 科 臨 床 実 地	HP211206	(225)	(225)	10(450)	必 修	10	
必 修 計		(345)	(390)	27(735)			
選 択 計		(60)	(60)	8(120)			
合 計		(405)	(450)	35(855)		31	修了必要単位数

* 研究方法論または情報処理演習を自由に選択

** 社会保障特論または老人・障害者福祉論を自由に選択

福岡医療短期大学試験、 成績の評価及び進級に関する規則

(平27.4.1適用)

(試験)

- 第1条 試験は定期試験、追試験、再試験及び卒業試験とする。ただし、必要に応じ随時に試験を行うことがある。
- 2 定期試験は、学期末又は学年末に各授業科目について行う。
 - 3 追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかつた者に対し当該試験科目について行う。
 - 4 再試験は、定期試験において不合格となった試験科目のある者（当該試験科目について）及び卒業試験に不合格となった者に対し、必要がある場合行う。
 - 5 卒業試験は、学則第13条に定める別表Ⅰ、Ⅱの教育課程を履修した者に対して行う。

(試験方法)

- 第2条 試験は、筆記又は口頭による質疑応答又は実習、実技の審査によるほか、レポート、論文の審査又は平常の成績をもって替えることができる。

(受験資格)

- 第3条 次の各号の一に該当する者は試験を受けることができない。ただし、相当の事由がある場合は、仮に試験を受けさせることができる。
- (1) 各授業科目について、出席日数が授業時間数の3分の2に達しない者及び実習については5分の4に満たない者
 - (2) 学則第33条の規定により現に懲戒（停学）処分中の者
 - (3) 学生納付金及び追試験又は再試験の場合における受験料を未納の者
 - (4) その他短大学長の指定した者

(受験者心得)

- 第4条 受験者は次の各号に定める事項を遵守しなければならない。
- (1) 試験開始後20分経過した後は試験場に入る（受験する）ことを認められないこと及び試験開始後30分までは退場を認められないこと。
 - (2) 試験場においては、必ず学生証（追・再試験の場合は追・再試験受験票、以下本号において同じ）を机上に提示すること（当日学生証を忘れた者は、あらかじめ事務室で臨時学生証の交付を受けること）。
 - (3) 試験場においては、指定の場所に着席すること。
 - (4) 試験場においては、指定ある場合を除きノート、教科書、参考書等を身辺に置かないこと。
 - (5) 試験場においては、監督者の指示に従うこと。
 - (6) 答案用紙は白紙でも学籍番号、氏名を明記し、提出すること。
 - (7) 試験に関する掲示に注意すること。
 - (8) 追・再試験を受けようとする者は、短大学長の許可を受け、受験料を納付し追・再試験受験票の交付を受けること。

(試験中の不正行為)

第5条 試験中不正行為を認めるときは、監督員は直ちに答案を没収し、退場を命ずるとともに試験終了後速やかに短大学長に報告しなければならない。

2 不正行為を行った者に対しては、当該学期の全受験科目の評価を無効とし、かつ、学則第33条の規定により懲戒処分を行うものとする。

(成績の評価)

第6条 試験の成績は、優・良・可・不可の評語をもって表わし、可以上を合格とする。ただし、再試験においては可又は不可とし、卒業試験においては合又は否とする。

(進級及び留級)

第7条 学則第16条の規定により、当該学年において修得すべき全授業科目に合格した場合は進級とし、不合格の科目がある場合は、短大学長が進級又は留級を決定する。

(留級者)

第8条 留級者は原則として当該学年において修得すべき全授業科目のうち特に免除された科目のほかの授業に出席し、試験を受けなければならない。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価に関する細則

(平31.4.1適用)

試験、成績の評価等の取り扱いについて

1 試験の成績における評語の点数区分等

試験の成績における各評語の点数区分は次のとおりとする。

なお、「優、良、可、不可」はそれぞれ「A、B、C、D」で表すこともできる。

(1) 定期試験等

優	(A)	100点～80点
良	(B)	79点～70点
可	(C)	69点～60点
不可	(D)	59点～0点

(2) 卒業試験等

合	100点～70点
否	69点～0点

2 追・再試験の採点方法

(1) 追試験

点数は最高100点とする。

(2) 再試験

点数は最高60点とする。ただし、卒業試験の再試験は最高70点とする。

3 再試験欠席者の成績評価

(1) 再試験欠席者の成績(学年成績)の評価は、通常、定期試験の成績をもって代えるものとするが、これによることなく、担当教員が必要に応じてその他の方法により評価を行うことができる。

(2) 再試験の成績報告書において欠席の旨表示された者については、定期試験の成績をもってその学年成績とする。

福岡医療短期大学 GPA に関する実施要項

(目的)

第1条 この要項は、福岡医療短期大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。）に関し必要な事項を定め、教育課程における学修到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、学修支援等に資することを目的とする。

(評価等)

第2条 学生が履修した授業科目のグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「GP」という。）は、次表のとおりとする。

区分	グレード	1単位あたりのGP	成績評価基準	学修成果の達成度
合格	S	4	100点～90点	基準を大きく超えて優秀である
	A	3	89点～80点	基準を超えて優秀である
	B	2	79点～70点	望ましい基準に達している
	C	1.5	69点～60点	単位を認める基準に達している
	C*	1	再試験合格60点	単位を認める最低限の基準には達している
不合格	D	0	59点～0点	基準を下回っている

(GPA の算定)

第3条 各学期の GPA（以下「学期 GPA」という。）及び累積の GPA（以下「累積 GPA」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

学期 GPA =

$$\frac{\text{当該学期の履修科目の GP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

累積 GPA =

$$\frac{\text{全学期の履修科目の GP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{修得した科目の総単位数}}$$

(対象授業科目等)

第4条 本学で進級あるいは卒業により認定されたすべての授業科目を GPA の対象授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の場合は、GPA の対象外科目とする。

- (1) 選択科目で必要単位数を超えて取得した科目
- (2) 編入学または転入学等の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

(GPA の公表)

第5条 GPA は、成績配付時に学生へ公表する。

(GPA の活用)

第6条 学期 GPA は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 1つの学期（1 Semester）の GPA が 1.5 未満となった場合は、学生本人を呼び出し、学年担任による注意と指導を行う。
- (2) GPA 1.5 未満が 2 学期（2 Semester）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、学年担任と助言教員等が継続的な学修支援等を行う。
- (3) GPA 1.5 未満が 3 学期（3 Semester）連続した場合は、学生本人及び保証人（保護者等）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、退学するか、就学を継続するか意思確認を行う。就学意思がある場合には、学年担任及び助言教員等が継続的な学修支援・生活指導等を行う。

2 累積 GPA は、次のとおり活用するものとする。

- (1) 学生の主体的な学修を促進するための指標
- (2) 学生の学業成績を総合的に判断する指標
- (3) 特別奨学生や奨学金等の算定基礎資料
- (4) 学生の推薦や就職活動等にかかる資料

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、G P Aの取扱いに関し必要な事項は、学務・FD委員会が別に定める。

福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則

(平25.4.1適用)

- 1 福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則は、次のとおりとする。
- 2 出席の確認は各授業開始時に行う。
- 3 出席確認時にあらかじめ決められた座席に着席していない者は欠席とする。
- 4 授業担当者が正当な理由がないと判断した授業途中の退室は欠席とする。
- 5 授業中の携帯電話の使用は禁止する。使用した者はその授業を欠席とし、退室を命じる。
- 6 法令、天災その他本人の責によらない場合には、速やかに届け出ること。

福岡医療短期大学歯科衛生学科・専攻科
授業シラバス

令和3年度

福岡医療短期大学

目 次

英 会 話	1
研 究 方 法 論	4
情 報 処 理 演 習	7
社 会 保 障 特 論	9
老 人・障 害 者 福 祉 論	11
健 康 の 科 学	13
歯 科 看 護 学	15
口 腔 介 護 特 論	17
口 腔 保 健 管 理 学	20
先 端 臨 床 歯 科 学	22
専 攻 研 究	24
地 域 口 腔 介 護 実 習	27
歯 科 臨 床 実 地	30

専攻科口腔保健衛生学専攻 教育課程表

科 目	科目番号	単位数 (時間数)			摘 要	修 得 すべき 単位数	備 考
		1 年 次		計			
		前期	後期				
英 会 話	HP211001	(30)	(15)	3(45)	必 修	3	
研 究 方 法 論 *	HP212002	(30)		2(30)	選 択	2	1 科目 2 単位選択
情 報 処 理 演 習 *	HP212003	(30)		2(30)	選 択	2	
社 会 保 障 特 論 **	HP212101		(30)	2(30)	選 択	2	1 科目 2 単位選択
老 人 ・ 障 害 者 福 祉 論 **	HP212102		(30)	2(30)	選 択	2	
健 康 の 科 学	HP211103	(30)		2(30)	必 修	2	
歯 科 看 護 学	HP211104		(15)	1(15)	必 修	1	
口 腔 介 護 特 論	HP211201		(30)	2(30)	必 修	2	
口 腔 保 健 管 理 学	HP211202	(30)		2(30)	必 修	2	
先 端 臨 床 歯 科 学	HP211203	(30)		2(30)	必 修	2	
専 攻 研 究	HP211204		(60)	4(60)	必 修	4	
地 域 口 腔 介 護 実 習	HP211205		(45)	1(45)	必 修	1	
歯 科 臨 床 実 地	HP211206	(225)	(225)	10(450)	必 修	10	
必 修 計		(345)	(390)	27(735)			
選 択 計		(60)	(60)	8(120)			
合 計		(405)	(450)	35(855)		31	修了必要単位数

* 研究方法論または情報処理演習を自由に選択

** 社会保障特論または老人・障害者福祉論を自由に選択

専攻科 口腔保健衛生学専攻

Dental Hygiene Postgraduate Course

■キーワード

- 口腔保健
- 口腔介護
- 口腔保健衛生学

■学習・教育目標

歯科医療の現場では、歯科衛生士が口腔疾患の予防処置や保健指導を主体的に行うケースが増えており、患者とのコミュニケーションにより病態や予防法を分かりやすく説明するプレゼンテーション能力や多様な臨床例に対応できる問題解決能力、臨床データの情報処理能力、科学的思考力などが求められている。また、高齢患者や障害を持つ患者に対応するためには、口腔介護の知識と技術のほか、全身疾患の知識や社会福祉に関する知識や看護、介護の精神を学ぶことも必要である。

本専攻科では、これらの知識、技術や能力を修得させるために、歯科衛生学科の3年間に学んだ基礎的知識と技術の上に、さらに専門的知識と高度な技術を教授し、应用能力を備えた歯科保健医療の指導者となり得る、専門性と資質の高い歯科衛生士を育成することを目的とする。また、本科は独立行政法人 大学評価・学位授与機構より日本で初めて口腔保健衛生学の認定専攻科に認定されており、歯科衛生士の学問的レベルの向上のため、専攻科で学んだ成果をまとめて口腔保健学士の取得も目標としている。

科目領域の学習・教育目標

専攻科

専門外科目

医療人としての高い倫理観と幅広いコミュニケーション能力を持ち、多様な患者に対応するための知識を習得する。科学的思考力と研究心を養うために臨床データの情報処理能力およびプレゼンテーション技術を修得する。また英会話の実践を通して国際化社会に対応しうる対人コミュニケーション能力を身につける。

関連科目

歯科衛生士の専門科目を基礎として、社会福祉に関する知識、全身疾患と口腔との関連や有病者への対応について、より実践に即した専門知識の修得を目指す。多様な臨床例に対応できる問題発見能力と問題解決能力を身につける。

専門科目

歯科衛生学科の3年間で学んだ基礎的知識と技術の上に、さらに専門的知識と高度な技術を教授し、应用能力を備えた歯科保健医療の指導者となり得る、専門性と資質の高い歯科衛生士を育成する。福岡歯科大学医科歯科総合病院の各診療科（総合歯科、保存・歯周病科、小児歯科、矯正歯科、補綴科、インプラント科、口腔外科、障害者歯科、高齢者歯科）において、専門分野の高度な知識・技術を修得し、科学的根拠に基づいた口腔保健衛生を実践できる歯科衛生士の養成を目的とする。また、キャンパス内の介護老人保健施設および介護老人福祉施設では、多職種との協働・連携をはかり、器質的・機能的口腔ケアの実践を通して、口腔介護・口腔リハビリテーションを修得する。

1年次

前期

後期

HP211001
英語 ③

HP212002
研究方法論 ②

HP212003
情報処理演習 ②

HP212101
社会保障特論 ②

HP212102
老人・障害者福祉論 ②

HP211103
健康の科学 ②

HP211104
歯科看護学①

HP211201
口腔介護特論 ②

HP211202
口腔保健管理学 ②

HP211203
先端臨床歯科学 ②

HP211205
地域口腔介護実習 ①

HP211206
歯科臨床実地 ⑩

HP211204
専攻研究 ④

□ 必修科目

■ 選択科目

○の中の数字は単位数

学修総まとめ科目「専攻研究」における学修成果論文に対する成績評価の観点と評価対象の活動

福岡医療短期大学専攻科

評価対象の活動

成績評価の観点		最高評点	研究発表会	研究論文	抄読会	研究指導
1	研究の背景、研究目的が記述されているか	5点	◎	◎	◎	
2	困難を乗り越える十分な努力がなされたか	5点				◎
3	研究方法や手段は適切であるか	5点		◎	◎	
4	適切な仮説が提示されているか	5点		◎		
5	論理的展開が妥当であるか	5点	◎	◎	◎	
6	批判的、合理的な思考力が生かされているか	5点		◎	◎	
7	結果あるいは途中経過における考察は妥当か	5点	◎	◎		
8	学修総まとめ科目履修計画書に記述された計画・内容と一貫性が保たれているか 大きな変更が生じた場合には、その理由、解決策等が明記されているか	5点				◎
9	文章表現は適切であるか	5点		◎		◎
10	指定論文・選択論文の口頭発表（プレゼンテーション）においてコミュニケーション能力が示されたか	5点			◎	
11	研究成果の口頭発表（プレゼンテーション）においてコミュニケーション能力が示されたか	5点	◎			
12	研究において他者とのチームワークが取れたか、リーダーシップを発揮したか	5点			◎	◎
13	研究において倫理性が確保されていたか	5点		◎		◎
総点			20点	40点	30点	25点
評価の割合			15%	60%	10%	15%

学修総まとめ科目「専攻研究」における学修成果論文に対する成績評価の観点と基準

福岡医療短期大学専攻科

成績評価の観点 基準

	優(5点)	良(4点) (抄読会発表はこの評点の評価は行わない)	可(3点)	不十分(1点)
1 研究の背景、研究目的が記述されているか	これまでに明らかにされたこと、現在の論点が明確にされており、それに基づいて研究の目的を設定している	現在の論点は明確にされているが、研究の目的が論点からずれている	研究の目的は明確であるが、現在の論点が明確にされていない	現在の論点が不明であり、研究の目的が明確ではない
2 困難を乗り越える十分な努力がなされたか	自らの工夫によって、課題発表・論文作成における困難を克服した	指導教員の助言、指導のもとに、課題発表・論文作成に向けて努力し、困難を克服した	指導教員の助言、指導のもとに、課題発表・論文作成に向けて努力した	課題設定が低く、困難が殆どない、または、指導教員の助言、指導によっても困難を克服する努力が見られない
3 研究方法や手段は適切であるか	目的を達成するために、複数の方法を吟味し、最善の方法を選択している	目的を達成するために適切な方法を用いているが、その方法を採用した理由が明確でない	用いた方法は目的を達成するために利用できるが、最善のものではない	方法が述べられていない、または適切な方法ではない
4 適切な仮説が提示されているか	目的を達成する上で、適切な仮説を明確に立てている	目的を達成する上で、適切な仮説を立てている	仮説は立てているが、研究の目的・研究課題とずれがある	仮説がないまま、レポートを書いている
5 論理的展開が妥当であるか	重要な根拠が資料とともに明示されており、論理的に結論を導いている	重要な根拠に基づいて、論理的に結論を導いているが、根拠の科学的裏付けが弱い	重要な根拠に基づいて、結論を導いているが、論理的でない部分がある	結論が根拠に基づいておらず、論理的な展開をしていない
6 批判的、合理的な思考力が生かされているか	自己の見解が明確に出されている	自己の見解はあるが、多くは他人の見解を写したものである	他人の見解のみで自己の見解がない	結論が読み取れない
7 結果あるいは途中経過における考察は妥当か	仮説を検証する上で適切な分析を行っている	必要な資料について分析が行われているが、十分ではない	分析が行われているが、資料が不十分であり、仮説を検証するには至っていない	分析がなされていない、または不十分である
8 学修総まとめ科目履修計画書に記述された計画・内容と一貫性が保たれているか 大きな変更が生じた場合には、その理由、解決策等が明記されているか	科目履修計画書に記述された計画・内容と一貫性が保たれている	幾分の変更がなされたが、概ね科目履修計画書に記述された計画・内容と一致する	科目履修計画書に記述された計画・内容から外れているが、変更理由は明確であり、解決策が示されている	科目履修計画書に記述された計画・内容から大きく外れており、変更理由が不明瞭である、あるいは解決策が示されていない
9 文章表現は適切であるか	用語の誤用、発表資料として不適切な文体(口語体、主語述語の不明確さ、擬態語、形容詞・副詞の多様、連続した助詞の使用等、句読点の乱用あるいは欠落)も認められない、または自ら修正できる	用語の誤用、文体の不統一、不適切な文体(口語体、主語述語の不明確さ、擬態語、形容詞・副詞の多様、連続した助詞の使用等、句読点の乱用あるいは欠落)が認められるが、教員や他者からの助言によって修正できる	用語の誤用、文体の不統一、不適切な文体(口語体、主語述語の不明確さ、擬態語、形容詞・副詞の多様、連続した助詞の使用等、句読点の乱用あるいは欠落)が認められるが、教員や他者からの助言によって概ね修正できる	用語の誤用、文体の不統一が認められ、参加者の理解を深める工夫が見られない
10 指定論文・選択論文の口頭発表（プレゼンテーション）においてコミュニケーション能力が示されたか	資料のデザイン、字体の選択、視覚素材による説明など、全ての資料に工夫が見られる 言葉が明確で、十分な声量で発表した		資料には必要な情報が含まれているが、参加者の理解を深める工夫が見られない 声量、明確さにかける部分があった	資料には結論に不要な情報も含まれ、参加者の理解を深める工夫がない 声量が十分でなく、また言葉が明確でなく、聞き取りにくい
11 研究成果の口頭発表（プレゼンテーション）においてコミュニケーション能力が示されたか	スライドのデザイン、字体の選択、視覚素材による説明など、全てのスライドに工夫が見られる 明確で十分な声量で発表し、制限時間も守れた PC・ポインターなどの機器を円滑に操作することができた	スライドには必要な情報が含まれ、参加者の理解が深められる工夫が見られる 制限時間は守れなかったが、明確で声量も十分であった 機器の操作は概ねできたが、一部補助者の助けが必要であった	スライドには必要な情報が含まれているが、参加者の理解を深める工夫は少ない 内容は概ね伝えることができたが、声量、明確さにかける部分もあった。また、状況に対する判断が不適切な部分があった 機器の操作に不慣れで、頻りに補助者の助けを借りた	スライドには結論に不要な情報も含まれ、参加者の理解を深める工夫がない 声量が十分でなく、また言葉が明確でなく、内容が人に伝わらなかった 全く機器の操作ができず、常に補助者の助けを借りた
12 研究において他者とのチームワークが取れたか、リーダーシップを発揮したか	自ら進んで困難に直面している他者を支援し、課題解決にリーダーシップを発揮する	自ら進んで他者と協力して、課題解決に努力する	教員の助言や他者からの求めに応じて、他者と協力し、課題解決に取り組む	教員の助言や他者からの求めに対して、反応しない
13 研究において倫理性が確保されていたか	研究目的、方法等について倫理審査委員会に申請し、承認されている	研究目的、方法等が倫理的に問題がない	研究目的、方法等が倫理的に問題が指摘されたことについて、満足できる修正が行われた	研究目的、方法等が倫理的に問題が指摘されたことについて、修正が不十分である

英会話

開講時期	通年
授業時間数	23 コマ : 46 時間 3 単位
受験資格要件	2/3 (16 コマ) 以上の出席
科目番号	HP211001
評価責任者	貴島 聡子
授業担当者	Nikandrov Nikolai

1. 一般目標

本専攻科での「英会話」は、単に旅行等で役に立つ英会話能力の習得だけでなく、英語圏における異文化理解を通して教養を身につけることにも重点を置いた授業内容にしている。また、「英会話」を活用できる対人コミュニケーション能力の養成も目標としている。特に次の項目を重点的に行う。①海外研修&旅行で役に立つスピーキング&リスニング能力の向上、②映画を利用した英会話力養成、③異文化理解、④対人コミュニケーション能力の養成である。毎年秋季に実施されるアメリカ合衆国への海外研修や海外の研究者とのコミュニケーションが上手くできる会話力を身に付ける。

2. 教育方法

講義・グループワークを行う。

3. 教育教材・機材

教科書、配布プリント、DVD、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業には、『elementary TARGET!“「総合英語のターゲット演習(初級)」』を必ず持参すること。下記予習項目に記載しているように、前時に既習の授業内容を自宅学習し、始業時に行う口頭による質問に答えることができるように事前学修を怠らないこと。授業中はノートを取ること。授業後は、教科書および配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：23時間】

5. 評価

[総括的評価] レポート（60%）平常評価：確認テスト・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言等）（40%）

[フィードバック] 成績は評価後に掲示する。

6. 教科書

配布プリント

7. 参考書

英和辞典（電子辞書でも可）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目 と 必要時間	教育目 標領域
1	4/14 (水) 1限	Nikolai	オリエンテーショ ン Unit 1 In your Free Time 講義・演習	1)本文の英語の内容を理解する。	1) 前回時に学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 1の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)
2	4/21 (水) 1限	Nikolai	Unit 2 Communication Skills 講義・演習	1)本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 2を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運 動 (模倣)
3	4/21 (水) 2限	Nikolai	Unit 3 World Languages and culture 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 3の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目 と 必要時間	教育目標領域
4	5/12 (水) 1限	Nikolai	Unit 4 Healthy Body, Healthy Mind 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 4を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
5	5/19 (水) 1限	Nikolai	Unit 5 Careers Nowadays 講義・演習・DVD 視聴	1) DVDを視聴して音声と映像を通して内容を理解し、映画の中に出てきた文化的な内容について討議する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 視聴した映画の文化的な内容について説明することができる。	映画の中で出てきた文化的な内容を確認する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
6	5/26 (水) 1限	Nikolai	Unit 6 Fashion Trend 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 6の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
7	6/2 (水) 1限	Nikolai	Unit 7 Planning a Trip Abroad 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 7を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
8	6/9 (水) 1限	Nikolai	Unit 8 Are you into Sports? 講義・演習・DVD 視聴	1) DVDを視聴して音声と映像を通して内容を理解し、映画の中に出てきた文化的な内容について討議する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 視聴した映画の文化的な内容説明することができる。	映画の中で出てきた文化的な内容を確認する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)
9	6/16 (水) 1限	Nikolai	Unit 9 Parties Are a Lot of Fun! 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 9の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
10	6/23 (水) 1限	Nikolai	Unit 10 Art in Our Life 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 10を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
11	6/30 (水) 1限	Nikolai	Unit 11 What Shall We Eat? 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 11の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
12	7/7 (水) 1限	Nikolai	Unit 12 What Makes a Good Company? 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 12を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
13	7/14 (水) 1限	Nikolai	Unit 13 Advances in Science 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 13の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
14	7/21 (水) 1限	Nikolai	Unit 14 Life with Technology 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 14を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
15	7/28 (水) 1限	Nikolai	Unit 15 Eco Friendly Life 講義・演習・DVD 視聴	1) DVDを視聴して音声と映像を通して内容を理解し、映画の中に出てきた文化的な内容について討議する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 視聴した映画の文化的な内容することができる。	映画の中で出てきた文化的な内容を確認する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)
16	9/8 (水) 4限	Nikolai	オリエンテーション Unit 1 Making an Appointment by Telephone 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 1の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標領域
17	9/15 (水) 4限	Nikolai	Unit 2 Requests for Medicine 講義・演習	1)本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 2を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18	9/22 (水) 4限	Nikolai	Unit 3 Emergency Appointments 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 3の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
19	9/29 (水) 4限	Nikolai	Unit 4 National Health Insurance 講義・演習	1) 本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 4を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
20	10/6 (水) 4限	Nikolai	Unit 5 Asking the patients to Describe Symptoms 講義・演習・DVD 視聴	1)DVDを視聴して音声と映像を通して内容を理解し、映画の中に出てきた文化的な内容について討議する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 視聴した映画の文化的な内容について説明することができる。	映画の中で出てきた文化的な内容を確認する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)
21	10/13 (水) 4限	Nikolai	Unit 6 Asking Disease 講義・演習	1)本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の英語を和訳し、内容を説明することができる。	Unit 6の分からない単語を調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
22	10/20 (水) 4限	Nikolai	Unit 7 Periodontal Disease 講義・演習	1)本文の英語の内容を理解する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2)本文の既習後の英語を正しく音読することができる。	Unit 7を熟読する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
23	10/27 (水) 4限	Nikolai	Unit 8 Pregnancy 講義・演習・DVD 視聴	1)DVDを視聴して音声と映像を通して内容を理解し、映画の中に出てきた文化的な内容について討議する。	1) 前回学修した内容に対する質問に答えることができ、説明できる。 2) 視聴した映画の文化的な内容説明することができる。	映画の中で出てきた文化的な内容を確認する。 (予習1時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)

研究方法論

開講時期	前期
授業時間数	15コマ;30時間 2単位(選択)
受験資格要件	2/3(10コマ)以上の出席
科目番号	HP212002
評価責任者	松尾 忠行
授業担当者	松尾 忠行、中園 栄里

1. 一般目標

研究活動における研究テーマ(課題)の探索と選定、先行研究の調査(文献検索の方法、文献収集の方法)、研究計画の立案、文献の整理(ファイリング等)、データの整理と統計処理等の基本の修得や、また、学術雑誌に掲載された論文を例として挙げ、論文の構成、科学的・批判的思考ならびに科学的論述法を修得する。

2. 教育方法

講義およびプレゼンテーションと討論を行う。博士(歯学、栄養科学)を有する教員による実践的教育を行う。

3. 教育教材

プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。プレゼンテーションの準備を怠らないこと。

【単位修得に必要な授業外学修(予習・復習)時間:15時間】

5. 評価

[総括的評価] 指定論文および専攻論文の履修計画に関するプレゼンテーションと討論をルーブリックにより評価(100%)
[フィードバック] 試験結果(成績)は、講義終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第2版」日本歯科衛生学会 監修 医歯薬出版 2018

7. 参考書

なし

回	授業日	授業者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/9 (金) 3限 全員	中園	オリエンテーション ユニット 1 研究の紹介 [講義]	1) 研究テーマについて理解する。	(1)研究とは何かを説明することができる。 (2)提示された過去の専攻論文テーマをもとに、自分の研究テーマ案を列記することができる。	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
2	4/16 (金) 1限 全員	中園	ユニット 2 研究テーマの決定 [講義]	1) 研究テーマを決定する。	(1)自分の研究テーマを1つに絞り込むことができる。	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
3	4/16 (金) 2限 全員	中園	ユニット 3-1 研究プロセス1 [講義]	1) 「テーマの着想に至った「背景」「目的」について理解する。	(1)研究の着想(関心をもったことは何か?) (2)研究の背景(その背景をどのようなものか?) (3)研究のアプローチ(どんなアプローチがあるか?) (4)研究の目的(本研究で明かからにすることは何か?) (5)研究の意義(本研究の意義はどのようなものか?)	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	4/30 (金) 1限 全員	中園	ユニット 3-2 研究プロセス2 [講義]	2) 「先行研究」について理解する。	(1)先行研究の検索（過去の研究のアプローチは？） (2)先行研究の整理（どこまで明らかになっているのか？） (3)先行研究の限界（先行研究の限界は何か？） (4)残された問題は何か？（どこまで明らかになっているのか？）	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
5	5/7 (金) 1限 全員	中園	ユニット 3-3 研究プロセス3 [講義]	3) 「問題」「研究方法」について理解する。	問題 (1)問題の所在（先行研究によって明らかになった問題とは？） (2)仮説（どのような研究仮説が成り立つのか？） (3)本研究の限界（本研究の仮説検証に伴う限界は何か？） 研究方法 (1)仮説検証の方法（仮説検証の手順） (2)研究の着想（どのような方法でアプローチするのか？） (3)データ解析（データ解析はどのような方法を利用するのか？）	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
6	5/21 (金) 1限 全員	中園	ユニット 3-4 研究プロセス4 [講義]	4) 「結果」「考察」「結論」について理解する。	結果 (1)結果の整理（どのような結果が得られたのか？） (2)統計解析結果（統計的に有意な結果が得られたか？） 考察 (1)結果の解釈（統計解析の結果はどのような意味があるのか？） (2)新しい知見（先行研究と比較して新たな知見は何か？） (3)仮説の検証（仮説は採択されたか否か？） 結論 (1)総括（本研究を要約するとどういった研究であったか？） (2)結論（本研究を総括してどのようなことがいえるか？）	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
7	5/28 (金) 1限 選択	松尾 中園	ユニット 4-1 先行研究論文の抄読会1 [演習・討論]	1) 抄読会について理解する。	(1) 指定論文のプレゼンテーションと討論ができる。	プレゼンテーションの予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)
8	6/4 (金) 4限 選択	松尾 中園	ユニット 4-2 先行研究論文の抄読会2 [演習・討論]	1) 抄読会について理解する。	(1) 指定論文のプレゼンテーションと討論ができる。	プレゼンテーションの予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)
9	6/11 (金) 1限 選択	松尾 中園	ユニット 4-3 先行研究論文の抄読会3 [演習・討論]	1) 抄読会について理解する。	(1) 指定論文のプレゼンテーションと討論ができる。	プレゼンテーションの予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)
10	6/18 (金) 1限 選択	松尾 中園	ユニット 4-4 先行研究論文の抄読会4 [演習・討論]	1) 抄読会について理解する。	(1) 指定論文のプレゼンテーションと討論ができる。	プレゼンテーションの予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)
11	6/25 (金) 1限 全員	松尾 中園	ユニット 5-1 履修計画書1 [演習]	1) 専攻論文の履修計画書を作成する。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)
12	7/2 (金) 1限 全員	松尾 中園	ユニット 5-2 履修計画書2 [演習]	1) 専攻論文の履修計画書を作成する。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神運動 (模倣)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
13	7/9 (金) 1限 全員	松尾 中園	ユニット 5-3 履修計画書3 [演習]	1) 専攻論文の履修計画書 を作成する。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表する ことができる。	履修計画書 発表の予 習・復習を行 う。(予習0.5 時間・復習 0.5時間)。	精神運 動 (模倣)
14	7/16 (金) 1限 全員	松尾 中園	ユニット 5-4 履修計画書4 [演習]	1) 専攻論文の履修計画書 を作成する。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表する ことができる。	履修計画書 発表の予 習・復習を行 う。(予習0.5 時間・復習 0.5時間)。	精神運 動 (模倣)
15	7/30 (金) 1限 全員	松尾 中園	ユニット 5-5 履修計画書5 [演習]	1) 専攻論文の履修計画書 を作成する。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表する ことができる。	履修計画書 発表の予 習・復習を行 う。(予習0.5 時間・復習 0.5時間)。	精神運 動 (模倣)

情報処理演習

開講時期	前期
授業時間数	15コマ：30時間 2単位（選択）
受験資格要件	2/3（10コマ）以上の出席
科目番号	HP212003
評価責任者	松尾 忠行
授業担当者	松尾 忠行

1. 一般目標

歯科衛生士が臨床の現場で遭遇する各種の課題・問題を判断、処理、解決するために、パソコンやインターネットを利用して情報を取得し、関連づけ、処理する技術を修得できること。また、研究活動における研究テーマ（課題）の探索と選定、先行研究の調査（文献検索の方法、文献収集の方法）、研究計画の立案、文献の整理（ファイリング等）、データの整理と統計処理等の基本を修得する。

2. 教育方法

講義、演習を行う。博士（歯学）を有する教員による実践的教育を行う。

3. 教育教材

プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。プレゼンテーションの準備を怠らないこと。本授業は専攻研究を理解に不可欠である。【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

【総括的評価】指定論文および専攻論文の履修計画に関するプレゼンテーションと討論をルーブリックにより評価（100%）

【フィードバック】試験結果（成績）は、講義終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

なし

7. 参考書

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/9 (金) 3限 全員	松尾	オリエンテーション ユニット 1 研究の紹介 【講義】	1) 研究テーマについて理解する。	(1)研究とは何かを説明することができる。 (2)提示された過去の専攻論文テーマをもとに、自分の研究テーマ案を列記することができる。	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
2	4/16 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 2 研究テーマの決定 【講義】	1) 研究テーマを決定する。	(1)自分の研究テーマを1つに絞り込むことができる。	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
3	4/16 (金) 2限 全員	松尾	ユニット 3-1 研究プロセス1 【講義】	1) 「テーマの着想に至った背景」「目的」について理解する。	(1)研究の着想（関心をもったことは何か？） (2)研究の背景（その背景をどのようなものか？） (3)研究のアプローチ（どんなアプローチがあるか？） (4)研究の目的（本研究で明かからにすることは何か？） (5)研究の意義（本研究の意義はどのようなものか？）	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
4	4/30 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 3-2 研究プロセス2 【講義】	1) 「先行研究」について理解する。	(1)先行研究の検索（過去の研究のアプローチは？） (2)先行研究の整理（どこまで明らかになっているのか？） (3)先行研究の限界（先行研究の限界は何か？） (4)残された問題は何か？（どこまで明らかになっているのか？）	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
5	5/7 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 3-3 研究プロセス3 [講義]	1)「問題」「研究方法」について理解する。	問題 (1)問題の所在(先行研究によって明らかになった問題とは?) (2)仮説(どのような研究仮説が成り立つのか?) (3)本研究の限界(本研究の仮説検証に伴う限界は何か?) 研究方法 (1)仮説検証の方法(仮説検証の手順) (2)研究の着想(どのような方法でアプローチするのか?) (3)データ解析(データ解析はどのような方法を利用するのか?)	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
6	5/21 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 3-4 研究プロセス4 [講義]	1)「結果」「考察」「結論」について理解する。	結果 (1)結果の整理(どのような結果が得られたのか?) (2)統計解析結果(統計的に有意な結果が得られたか?) 考察 (1)結果の解釈(統計解析の結果はどのような意味があるのか?) (2)新しい知見(先行研究と比較して新たな知見は何か?) (3)仮説の検証(仮説は採択されたか否か?) 結論 (1)総括(本研究を要約するとどういう研究であったか?) (2)結論(本研究を総括してどのようなことがいえるか?)	配布資料を精読し、復習する。(復習1時間)	認知 (想起)
7	5/28 (金) 1限 選択	松尾	ユニット 4-1 データ処理の基礎 知識1 [演習]	1) データ入力、データの吟味、データの整理ができる。	(1) Excelでのデータ入力、データの記述(グラフ化)ができる。	データ入力、データの記述を復習する。(復習1時間)	精神 運動 (模 倣)
8	6/4 (金) 4限 選択	松尾	ユニット 4-2 データ処理の基礎 知識2 [演習]	1) 統計解析について実践できる。	(1) Excelで基礎統計量(平均値、標準偏差)が作成できる。	データ入力、データの記述を復習する。(復習1時間)	精神 運動 (模 倣)
9	6/11 (金) 1限 選択	松尾	ユニット 4-3 データ処理の基礎 知識3 [演習]	2) 統計解析について実践できる。	(1) Excelで差の分析(相関関係)が作成できる。	相関関係を復習する。1時間	精神 運動 (模 倣)
10	6/18 (金) 1限 選択	松尾	ユニット 4-4 データ処理の基礎 知識4 [演習]	3) 統計解析について実践できる。	(1) Excelで関係の分析(t検定、分散分析)が作成できる。	t検定、分散分析を復習する。(復習1時間)	精神 運動 (模 倣)
11	6/25 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 5-1 履修計画書1 [演習・討論]	1) 専攻論文の履修計画書を完成させる。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神 運動 (模 倣)
12	7/2 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 5-2 履修計画書2 [演習・討論]	1) 専攻論文の履修計画書を完成させる。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神 運動 (模 倣)
13	7/9 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 5-3 履修計画書3 [演習・討論]	1) 専攻論文の履修計画書を完成させる。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神 運動 (模 倣)
14	7/16 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 5-4 履修計画書4 [演習・討論]	1) 専攻論文の履修計画書を完成させる。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神 運動 (模 倣)
15	7/30 (金) 1限 全員	松尾	ユニット 5-5 履修計画書5 [演習・討論]	1) 専攻論文の履修計画書を完成させる。	(1) 専攻論文の履修計画書について発表することができる。	履修計画書発表の予習・復習を行う。(予習0.5時間・復習0.5時間)。	精神 運動 (模 倣)

社会保障特論

開講時期	後期
授業時間数	15コマ：30時間 2単位
出席要件	2/3（10コマ）以上の出席
科目番号	HP212101
評価責任者	貴島聡子
授業担当者	畑 香理

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯・口腔疾患の予防及び歯科保健指導を行うことに加え、多様な対象者（患者）のトータルペインを理解し専門職として業務を行うためにも、各種社会保障制度を理解することは必要であろう。

本講義では、何のために社会保障を学ぶのかをおさえたうえで、各制度（医療保険、生活保護、介護保険、年金、雇用保険、労働者災害補償保険等）について学び、基本的な医療、保健、福祉の知識を体系的に理解する。

2. 教育方法

講義形式での解説を中心に行い、テーマによってグループワークや討論を取り入れる（新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえグループワーク及び討論を実施するかどうか判断する。詳細は初回講義にて説明する）。

3. 教育教材

教科書、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修を行う。

授業中はノートを取る。レポート課題は締切り期日を守る。本授業は、口腔介護論、地域口腔介護実習の理解に不可欠である。 [単位修得に必要な授業外学習時間：15時間]

5. 評価方法

[総括的評価]レポート(60%)、平常点はグループワークでの取り組み、授業内レポート、授業への参加度等を含む。(40%)
詳細については初回講義にて説明を行う。

[フィードバック] 評価（成績）は、評価終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 棕野美智子『はじめての社会保障－福祉を学ぶ人へ－第17版』有斐閣アルマ、2020年。 ※後期授業までに第18版が発行されている場合は最新の書籍を使用する。

2. 鬼崎信好・本郷秀和編著『コメディカルのための社会福祉概論第4版』講談社、2018年。 ※後期授業までに第5版が発行されている場合は最新の書籍を使用する。

7. 参考書

1. 厚生労働統計協会 『保険と年金の動向』 各年版

2. 厚生労働省 『厚生労働白書』 各年版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/10 (金) 2限	畑	ユニット1 オリエンテーション、 社会保障の見取り図	1 社会保障を概観し、 各種制度の意義を理解する。	①～⑤を理解し、自らの意見を述べる ことができる。 ① 概念整理 ② 世界の社会保障の歴史 ③ 日本の社会保障の歩み ④ 社会保障の機能 ⑤ 社会保障の財政	教科書の該当部分を通読する。 予習1時間	認知 (解釈)
2	9/17 (金) 2限	畑	ユニット2-1 医療サービスの保障 講義	1 医療サービスの保障 について理解する。	①～④を理解し、自らの意見を述べる ことができる。 ① 医療サービスを保障する仕組み ② 被保険者と保険料 ③ 保険給付 ④ 診療報酬と薬価基準	教科書の該当部分を通読する。 予習1時間	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	9/24 (金) 2限	畑	ユニット2-2 医療サービスの保障 講義	2 医療サービスの保障 について理解する。	①～③を理解し、自らの意見を述べる ことができる。 ①高齢者医療制度 ②国民医療費 ③医療提供体制	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
4	10/1 (金) 2限	畑	ユニット2-3 医療サービスの保障 グループワーク・討論	3 医療サービスの保障 について理解し、医療 保険の課題について 討論を行う。	医療サービスの保障について説明 することができる。	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
5	10/8 (金) 2限	畑	ユニット3-1 介護保険 講義	1 介護保険制度を理解 する。	①～③を理解し、自らの意見を述 べる。 ①介護サービスを保障する仕組み ②保険者 ③被保険者と保険料	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
6	10/15 (金) 2限	畑	ユニット3-2 介護保険 講義	2 介護保険制度を理解 する。	①～③を理解し、自らの意見を述 べる。 ①保険給付 ②介護提供体制 ④権利保護	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
7	10/22 (金) 2限	畑	ユニット3-3 介護保険 グループワーク・討論	3 介護保険制度を理解 し、課題についてグ ループ討論を行う。	介護保険制度について説明する ことができる。	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
8	10/29 (金) 2限	畑	ユニット4 生活保護と社会福祉 制度 講義	1 生活保護制度を理解 する。	①～③を理解し、自らの意見を述 べる。 ①生活保護 ②社会福祉制度 ③社会手当	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
9	11/5 (金) 2限	畑	ユニット5-1 年金 講義	1 年金制度を理解す る。	①～④を理解し、自らの意見を述 べる。 ①所得を保障する仕組み ②被保険者と保険料 ③老齢年金 ④財政方式	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
10	11/12 (金) 2限	畑	ユニット5-2 年金 講義	2 年金制度を理解す る。	①～④を理解し、自らの意見を述 べる。 ①障害年金 ②遺族年金 ③年金の業務体制 ⑤企業年金等	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
11	11/19 (金) 2限	畑	ユニット5-3 年金 グループワーク・討論	3 年金制度を理解し、 課題についてグ ループ討論を行う。	年金制度について説明する ことができる。	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
12	11/26 (金) 2限	畑	ユニット6 雇用保険 講義	1 雇用保険制度を理解 する。	①～④を理解し、自らの意見を述 べる。 ①失業した場合に所得を保障する 仕組み ②被保険者と保険料 ③保険給付 ④雇用保険事業	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
13	12/3 (金) 2限	畑	ユニット7-1 労働者災害補償保険 講義	1 労働者災害補償保険 制度を理解する	①②を理解し、自らの意見を述 べる。 ①業務上の事故について補償する 仕組み ②適用事業と保険料	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
14	12/10 (金) 1限	畑	ユニット7-2 労働者災害補償保険 講義	2 労働者災害補償保険 制度を理解する。	①～③を理解し、自らの意見を述 べる。 ①業務上または通勤による災害の 認定 ②保険給付 ③社会復帰促進等事業	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)
15	12/17 (金) 2限	畑	ユニット7-3 労働者災害補償保険 グループワーク・討論	3 労働者災害補償保険 制度を理解し、課題 についてグループ 討論を行う。	労働者災害補償保険制度について 説明することができる。	教科書の該当部分を通読する。 予習 1時間	認知 (解釈)

老人・障害者福祉論

開講時期	後期
授業時間数	15 コマ ; 30 時間 2 単位
受験資格要件	2 / 3 (10 コマ)以上の出席
科目番号	HP212102
評価責任者	古野みはる
授業担当者	大垣 京子 古野みはる

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な高齢者や障害者の特性、並びに関係法制に基づく福祉サービスの体系を理解し、地域共生社会のなかで多職種連携の取組みを推進する視点を身に付ける。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

行政機関や病院等において、社会福祉士として高齢・障害者の相談業務に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

プリント、DVD、PC+プロジェクター。

4. 学修方法

授業には、配布プリントを必ず持参すること。下記予習項目に記載の事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。

本授業を理解する上で、専門基礎分野の歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組みの知識が必要であり、本授業は口腔介護特論、地域口腔介護実習、歯科臨床実地の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

〔形成的評価〕 授業修了後の振り返りシート（30%）

〔総括的評価〕 定期試験；課題レポート（70%）

〔フィードバック〕 成績は、評価終了後に掲示する。

6. 教科書

適時プリントを配布する。

7. 参考書

特になし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	9/8 (水) 3限	大垣	オリエンテーション ユニット 1 高齢者の社会的理解 〔講義〕	1) 少子高齢社会で高齢者のおかれた現状を理解する。	1) 高齢化率について説明することができる。 2) 少子高齢社会の定義と課題を説明することができる。	福岡県の高齢化率が高い自治体、低い自治体を調べ、その理由を考える。 (予習1時間)	認知 (想起)
2	9/15 (水) 3限	大垣	ユニット2 高齢者の身体的理解 〔講義〕	1) 加齢に伴う身体機能等の変化を理解する。	1) 高齢者に多い病気を列挙することができる。 2) 健康寿命について説明することができる。	高齢者に多い病気を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
3	9/22 (水) 3限	大垣	ユニット 3 高齢者の精神的理解 〔講義〕	1) 高齢者の心理的特徴と老年期の心の病気を理解する。	1) 高齢期に起こる3つの喪失を説明することができる。	高齢者のうつ病の特徴を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
4	9/29 (水) 3限	大垣	ユニット 4 高齢者福祉に関する諸制度 (講義)	1) 老人福祉法の概要、老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律に至る経緯を理解する。	1) 老人福祉法創設の目的を説明することができる。 2) 老人医療費の現状と課題を説明することができる。	「後期高齢者医療制度」を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
5	10/6 (水) 3限	大垣	ユニット 4 高齢者福祉に関する諸制度 (講義)	1) 介護保険法の概要を理解する。	1) 介護保険法創設の意義・目的を説明することができる。 2) 介護保険法改正の方向性を説明することができる。	高齢者施設の種類を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
6	10/13 (水) 3限	大垣	ユニット 5 高齢者の権利擁護 (講義)	1) 高齢者虐待防止法の概要を理解する。	1) 高齢者虐待の種類や現状を説明することができる。	高齢者虐待の種類を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
7	10/20 (水) 3限	大垣	ユニット 5 高齢者の権利擁護 (講義)	1) 日常生活自立支援事業、成年後見制度の概要を理解する。	1) 日常生活自立支援事業の概要を説明することができる。 2) 成年後見制度の概要を説明することができる。	「市民後見人」について調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
8	10/27 (水) 3限	大垣	ユニット 6 認知症の理解 (講義)	1) 新オレンジプラン等認知症施策の概要と方向性を理解する。	1) 認知症ケアの現状と課題を説明することができる。 2) 地域で認知症患者を支援する意義について自分の考えを述べるができる。	「新オレンジプラン」について調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
9	12/8 (水) 3限	古野	オリエンテーション ユニット 7 障害の基礎的理解 (講義・演習(グループワーク))	1) 障害の表記、種類や定義について理解する。	1) 障害の表記について、自分の考えをまとめ、意見を述べるができる。 2) 障害の種類、定義について説明することができる。	「障害者の定義」を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起・ 解釈) 情意 (受入・ 反応)
10	12/8 (水) 4限	古野	ユニット 8 障害者の現状 (講義)	1) 社会の中で、障害者のおかれている現状を理解する。	1) 障害種別毎の割合を説明することができる。 2) 優生思想と障害者差別の歴史を説明することができる。	ニュースや新聞記事から「障害者差別」の具体的事例を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
11	12/15 (水) 3限	古野	ユニット 9 障害者福祉の理念 (講義)	1) 障害者福祉の基本理念を理解する。	1) ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンの意味を説明することができる。 2) IL運動とADA法について説明することができる。	「ユニバーサルデザイン」の商品を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
12	12/15 (水) 4限	古野	ユニット 10 障害者差別と雇用 (講義)	1) 障害者の雇用の現状と障害者差別解消法について理解する。	1) 障害者雇用促進法の改正点について説明することができる。 2) 合理的配慮について説明することができる。	障害者雇用率が高い企業を調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)
13	12/22 (水) 3限	古野	ユニット 11 障害の受容 (DVD観賞) レポート課題	1) サリドマイド被害者の現状から、障害者の抱える心理的課題を理解する。	1) 障害を持つことによる生きづらさについて多方面から考え、自分の意見をまとめることができる。	「レスパイトケア」の意味と実際についてノートにまとめる。 (予習1時間)	情意 (受入・ 反応・ 内面化)
14	12/22 (水) 4限	古野	ユニット 12 障害者の恋愛・性 (講義・演習(グループワーク))	1) 障害者の恋愛・性の現状を理解する。	1) 障害種別毎に生じる恋愛や性についての課題を説明することができる。 2) 障害者の恋愛・性について考え、自分の意見を述べることができる。	DVDの感想をまとめる。 (復習1時間)	認知 (解釈・ 問題解決) 情意 (受入・ 反応)
15	1/12 (水) 4限	古野	ユニット 13 発達障害の理解 (講義)	1) 発達障害の種類や定義、生活のしづらさを理解する。	1) 発達障害の人の特性を説明することができる。 2) 発達障害の人の生きづらさを説明することができる。	「大人の発達障害」について調べノートにまとめる。 (予習1時間)	認知 (想起)

健康の科学

開講時期 前期
 授業時間数 15 コマ : 30 時間2 単位
 受験資格要件 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号 HP211103
 評価責任者 貴島聡子
 授業担当者 矢田部尚子

1. 一般目標

歯科保健医療における歯科衛生士の指導的人材として、必要とされる身体のしくみや全身疾患の理解について、「口腔医学」との関連を中心に各種医療データの分析から理解する。また、保健指導や研究会・学会等の際に必要な解析・プレゼンテーション能力や問題解決能力を身につけることを到達目標とする。

2. 教育方法

講義・示説 (教科書、プリント、PC+プロジェクター、模型、VTR) プレゼンテーション資料作成のための、図書館での医学系資料やインターネットを用いた検索等による自己学修 PC を用いたプレゼンテーションと質疑応答

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 評価方法

[総括的評価] 提出レポート、プレゼンテーション(80%) 平常評価(20%)[受講態度等]

[フィードバック] 提出されたレポートについては、評価後に返却し、解説をその都度行う。プレゼンテーションについては、実施後に講評する。

5. 準備学習

あらかじめ、本シラバスの内容を授業前に熟読し授業の主旨を理解しておくこと。特に、行動目標について理解を深め、主体的に学修に取り組むことが期待される。

6. 教科書

特に指定しない。適宜、講義用資料を配布し講義を進めていく。

7. 参考書

適宜、紹介する。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標	行動目標	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	4/14 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を理解する。	1) 医療にまつわるトピックについてディスカッションすることができる 2) 自分の考えをまとめることができる	予習では、配布された講義資料に目を通し、授業で用いる資料等を準備する。 復習では、データ解析についてのまとめ、振り返り等を行うとともに、レポートの作成・講評結果の振り返りを行う。 各回1時間を目安とする。	認知精神・運動
2	4/21 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を理解する。			認知精神・運動
3	4/28 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を理解する。			認知精神・運動
4	5/19 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を理解する。			予習では、配布された講義資料に目を通し、授業で用いる資料等を準備する。 復習では、データ解析についてのまとめ

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標	行動目標	予習・復習項目と必要時間	教育 目標 領域
5	5/26 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を 理解する。	1) 日本語の論文を読み取ることができる 2) 英語の論文を読み取ることができる	め、振り返り等を行うとともに、レポートの作成・講評結果の振り返りを行う。各回1時間を目安とする。	認知 精神 ・ 運動
6	6/2 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を 理解する。			認知 精神 ・ 運動
7	6/9 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を 理解する。			認知 精神 ・ 運動
8	6/16 (水) 3限	矢田部	ユニット1 歯科領域における全身疾患の理解(1) 講義・実習	データ分析の基礎を 理解する。			認知 精神 ・ 運動
9	6/23 (水) 3限	矢田部	ユニット2 歯科領域における全身疾患の理解(2) 講義・AL	課題を分析できる。	1) データの代表値、散布度を求めることができる 2) 表計算ソフトを用いてデータの分布を図示できる 3) データの相関係数を求めることができる 4) 表計算ソフトを用いてデータの相関を図示できる 5) 統計学的検定の考え方を説明できる 6) 表計算ソフトを用いてカイ二乗検定をすることができる 7) 表計算ソフトを用いて検定をすることができる 8) 公開されている医療データを用いて2群の平均を比較できる	配布された講義資料に目を通し、課題に取り組む準備をする。授業で用いる文献等を準備する。プレゼンテーションの準備を行う。各回1時間を目安とする。	認知 精神 ・ 運動
10	6/30 (水) 3限	矢田部	ユニット2 歯科領域における全身疾患の理解(2) 講義・AL	課題を分析できる。 個別指導			認知 精神 ・ 運動
11	6/30 (水) 4限	矢田部	ユニット2 歯科領域における全身疾患の理解(2) 講義・AL	課題を分析できる。 プレゼンテーション			情意 精神 ・ 運動
12	7/7 (水) 3限	矢田部	ユニット3 歯科領域における全身疾患の理解(3) 講義・AL	課題を分析できる。			配布された講義資料に目を通し、課題に取り組む準備をする。授業で用いる文献等を準備する。プレゼンテーションの準備を行う。各回1時間を目安とする。
13	7/14 (水) 3限	矢田部	ユニット3 歯科領域における全身疾患の理解(3) 講義・AL	課題を分析できる。 個別指導	認知 精神 ・ 運動		
14	7/21 (水) 3限	矢田部	ユニット3 歯科領域における全身疾患の理解(3) 講義・AL	課題を分析できる。 プレゼンテーション	情意 精神 ・ 運動		
15	7/28 (水) 3限	矢田部	ユニット4 歯科領域における全身疾患の理解(4) 講義・AL	データ分析について まとめることができる。	1) まとめ 2) 総合討論	総論討論の準備と振り返りを行う。1時間を目安とする。	

歯科看護学

開講時期	後期
授業時間数	8コマ：15時間 1単位
受験資格要件	2/3（6コマ）以上の出席
科目番号	HP211104
評価責任者	堀部晴美
授業担当者	末松美保子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として全身管理を視野に入れた実践をするために、看護学および歯科衛生学に共通する基本的知識・技術・態度を修得し、自己の医療人としての倫理観を確立するための基礎知識を理解する。また、患者を支える家族についても理解し、広く地域医療で歯科衛生士として実践するための思考力と判断力を養うことができる。

2. 教育方法

講義・演習・グループワーク討論を行う。

医療機関（病院等）、施設などで、看護師として患者や要介護高齢者の看護に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

プリント、DVD+PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、配布資料としてプリント等を配布する。事前学修（予習）を怠らないこと。看護学総論、歯科保健学と関連付けた学修をする。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守る。この授業は、歯科臨床実地の理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：8時間】

5. 評価方法

[総括的評価] 課題レポート（80%）

授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

出欠状況など。

[フィードバック] 試験結果（成績）は、課題レポート終了後に掲示する。

6. 教科書

適宜資料を配布する。

7. 参考書

1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論成人看護学 1 医学書院 2018
2. 『看護覚え書－看護であること・喚語でないこと』現代社

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	11/10 (水) 3限	末松	オリエンテーション ユニット 1 成人への看護アプローチの基本を理解することができる [講義]	1) 成人への看護アプローチの基本について理解する。	(1) 大人の健康行動の捉え方について理解することができる。 (2) 行動変容について述べるすることができる。	健康のとらえ方についてノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)
2	11/10 (水) 4限	末松	ユニット 2 看護におけるマネジメントについて理解できる。 [講義]	1) 医療の場におけるマネジメントについて理解できる。	(1) 医療現場における倫理門外について理解することができる (2) 医療倫理について述べるすることができる。	患者の権利擁護について調べ、ノートに書く。 復習0.5時間・予習0.5時間	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
3	11/17 (水) 3限	末松	ユニット 3-1 家族支援について 理解できる [講義]	1) 家族システムについて 理解することができる。	(1) 家族の機能について理解することができる。 (2) 家族の役割について述べるすることができる。	家族の機能についてノ ートに書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)
4	11/17 (水) 4限	末松	ユニット 3-2 家族支援について 理解できる [講義]	2) 映像から具体的な家族 支援について理解で きる	(1) 映像から家族支援について理解すること ができる。 (2) 具体的な問題について述べること ができる。	家族支援の 具体的な内 容について ノートに書 く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想 起・解 釈)
5	11/24 (水) 3限	末松	ユニット 3-3 家族支援について 理解できる [講義]	3) 映像から具体的な家族 支援について理解で きる	(1) 映像から家族支援について理解すること ができる。 (2) 具体的な問題について述べること ができる。	家族支援の 具体的な内 容について ノートに書 く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)
6	11/24 (水) 4限	末松	ユニット 4 健康を脅かす要因 と看護について理 解できる [講義]	1) 生活行動がもたらす健 康問題とその予防を理 解することができる	(1) 健康バランスの構成要素について理解す ることができる。 (2) 具体的な問題について述べること ができる。	健康のバラ ンスがもた らす危機に ついてノー トに書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)
7	12/1 (水) 3限	末松	ユニット 5 健康生活の急激な 破綻から回復を促 す看護を理解する [講義]	1) 急性期にある人への看 護を理解すること ができる。	(1) 生命の危機状態について理解すること ができる。 (2) 急性期にある人の特徴について述べる ことができる。	急性期の患 者の特徴に いてノー トに書く。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想起)
8	12/1 (水) 4限	末松	ユニット 6 人生の最期の時を 支える看護につ いて理解すること ができる。 [講義]	1) 終末期を経験している 患者の看護につ いて理解する。	(1) 終末期の患者の状態や家族について理 解することができる。 (2) 終末期の患者、家族の苦痛の緩和と癒 しについてディスカッションし、意見を述 べることができる。	ホスピスに ついて調べ 、レポートを 作成する。 復習0.5時 間・予習0.5 時間	認知 (想 起・解 釈)

口腔介護特論

開講時期	後期
授業時間数	15コマ：30時間 2単位
受験資格要件	4/5（12コマ）以上の出席
科目番号	HP211201
評価責任者	貴島 聡子
授業担当者	松尾、堀部、力丸、泉、後藤、貴島 黒木、石井、南、川尻、森、升井 高木、中園、古野

1. 一般目標

平成18年度改正の介護保険法は予防重視型システムに転換され、それに盛り込まれた介護予防3本柱の一つに「口腔機能の向上支援」がある。要支援・要介護に陥るのを予防するには口腔機能が重要であることが介護の分野でも認識され、歯科が介護保険に参入するというエポックメイキングな改正でもあった。それまでの口腔ケアは、おもに誤嚥性肺炎を予防するための器質的口腔ケアとして捉えられていたが、この改正以降は介護予防やフレイル予防のための口腔機能向上支援（機能的口腔ケア）が大きくクローズアップされている。

“口腔介護特論”では、“食べる機能（摂食嚥下機能）”と“機能的口腔ケア”の目的および口腔リハビリテーションの方法について学び、「地域口腔介護実習」の授業とも連動して、①地域在住の高齢者および②介護保険施設職員のそれぞれを対象とする“口腔機能向上セミナー”（集団指導および個別指導）を企画立案し、リハーサル、実演を通して、地域における口腔機能向上支援の集団指導を実践し、将来の口腔介護のチームリーダーに相応しい基礎を身につけることを目標とする。

2. 教育方法

第1回～第5回には口腔機能、摂食嚥下機能の障害および口腔リハビリに関する講義を実施する。第6回からは①地域高齢者対象セミナーグループ（Aグループ6名、Bグループ6名、指導教員6名）、②介護保険施設職員対象セミナーグループ（Aグループ6名、Bグループ6名、指導教員6名）に分かれ、それぞれに口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー（集団指導および個人指導）を企画立案し、アクティブラーニング形式により集団指導の媒体作製を行い、その成果を公開発表会においてプレゼンテーションする。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。プレゼンテーションの準備を怠らないこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

【総括的評価】 プレゼンテーション(100%)

【フィードバック】 評価終了後に掲示する。

6. 教科書

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/8 (水) 2限	升井	ユニット1 口腔の機能 1 講義	1)食べる機能（摂食・嚥下機能）の解剖・生理および加齢による変化を理解する。	(1)健常者（成人）の食べる機能（摂食・嚥下機能）の解剖・生理の概要を図を用いて説明できる。	摂食・嚥下機能について高齢者歯科の教科書を復習 1時間	認知 (想起)
2	9/10 (金) 1限	堀部	ユニット2 食べる機能の障害 講義	1)食べる機能（摂食・嚥下機能）の障害と検査法を理解する。	(1)摂食嚥下機能の検査法の種類と方法を概説できる。	前回の配布プリント等を用いて復習 1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	9/17 (金) 1限	堀部	ユニット3-1 口腔リハビリ1 講義・グループワーク	1)食べる機能の認知期・準備期・口腔期における障害への対応として間接訓練を理解する。	(1)摂食嚥下機能障害の種類に応じた間接訓練を概説できる。	前回の配布プリント等を用いて復習 1時間	認知 (想起)
4	9/22 (水) 1限	堀部	ユニット3-2 口腔リハビリ2 講義・グループワーク	1)食べる機能の認知期・準備期・口腔期における障害への対応として直接訓練を理解する。	(1)摂食嚥下機能障害の種類に応じた直接訓練を概説できる。	前回の配布プリント等を用いて復習 1時間	認知 (想起)
5	9/29 (水) 1限	堀部	ユニット3-3 口腔リハビリ3 講義・グループワーク	1)歯科衛生士が実施する口腔リハビリの実際を理解する。	(1)各種の口腔機能リハビリテーションの概要を説明し、実施できる。	前回の配布プリント等を用いて復習 1時間	認知 (想起)
6	10/1 (金) 1限	升井 堀部 泉 中園	ユニット4-1 口腔介護研究1 オリエンテーション 講義およびAL	1)地域高齢者対象セミナー2グループ(指導教員:堀部、後藤、森、カ丸、石井、川尻) 介護保険施設職員対象セミナー2グループ(指導教員:貴島、南、升井、松尾、泉、黒木)に分かれ、口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を各グループで企画立案する。	(1)口腔機能向上支援に関わるセミナーのテーマを決め、その概要を説明できる。 ※12月以降は「地域口腔介護実習」の口腔機能向上支援に関する研修会の企画・開催の第10回～17回に継続してプレゼンを作成し、リハーサルを実施する。	インターネットや参考書から、口腔機能向上支援に関する教育セミナータイトルを検討する。 1時間	認知 (想起) 精神・運動 (模倣)
7 ・ 8	12/10 (金) 3,4限	堀部 後藤 森 カ丸 石井 川尻 貴島 南 升井 松尾 泉 黒木 高木	ユニット4-2 口腔介護研究2 リハーサル1 A・L	2)地域高齢者対象セミナー2グループ、2)介護保険施設職員対象セミナー2グループに分かれ、口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を各グループで企画立案する。	(1)セミナーの課題に関連する先行研究を調べ、その概要を説明できる。 (2)セミナーの企画書(計画書)を作成し、概要を説明できる。	セミナーの課題に関連する先行研究を調べる。1時間	認知 (想起) 精神・運動 (模倣)
9	12/17 (金) 3限	堀部 貴島 泉 中園	ユニット4-3 口腔介護研究3 プレゼン修正 A・L ユニット4 口腔介護研究3 プレゼン修正	3)結果をまとめる プレゼンテーションの作成 結果をまとめる 1)プレゼンテーションの作成	(1)サブグループ(3~4人)のアクティブラーニング形式により、セミナー用パワーポイントを作成する。 サブグループ(3~4人)のアクティブラーニング形式により、セミナー用パワーポイントを作成する。	インターネットや参考書から、教育セミナー用図表等を探す。 1時間	認知 (想起) 精神・運動 (模倣)
10	1/12 (水) 3限	堀部 貴島 泉 中園	ユニット4-3 口腔介護研究3 プレゼン修正 A・L			インターネットや参考書から、教育セミナー用図表等を探す。 1時間	認知 (想起) 精神・運動 (模倣)
11 ・ 12	1/19 (水) 3,4限	貴島	ユニット4-4 口腔介護研究2 リハーサル2 A・L	4)地域高齢者対象セミナー2グループ、②介護保険施設職員対象セミナー2グループの2つに分かれ、口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を各グループで企画立案する。	(1)セミナーの企画書(計画書)を作成し、概要を説明できる。	インターネットや参考書から、教育セミナー用図表等を探す。 2時間	認知 (想起) 精神・運動 (模倣)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
13 ・ 14 ・ 15	1/24 (月) 1-3限	堀部 後藤 森 力丸 石井 川尻 古野	ユニット5 口腔介護研究4 セミナー実施 A・L	1)地域高齢者対象セミナー2グループ、2.介護保険施設職員対象セミナー2グループに分かれ、口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を各グループで企画立案する。	(1)地域高齢者対象セミナーグループ:口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を実演する。	セミナー実施後の振り返り。3時間	情意 (受入) 精神・運動 (模倣)
	1/21 (金) 2-4限 1/28 (金) 2-4限			貴島 南 升井 松尾 泉 黒木 高木 中園	2)介護職員を対象とする教育セミナーを実施する。(サンシャインセンターで2回に分けて実施)	(2)介護保険施設職員対象セミナーグループ:口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー(集団指導および個人指導)を実演する。	

口腔保健管理学

前期 15コマ：30時間
2単位
受験資格要件 2/3（10コマ）以上の出席
科目番号 HP211202
評価責任者 堀部 晴美
授業担当者 永田、森田、縄田、高山、
原口、谷口

1. 一般目標

歯科保健指導の一貫として成人期の歯周病予防・治療法、メインテナンスプログラムとその実践方法ならびに周術期・急性期や地域保健活動の中で、科学的根拠のもと実施される口腔健康管理の手法と歯科衛生士の役割を理解し、実践するための思考力と判断力を養うことを目標とする。

2. 教育方法

論文、スライド、プリントによる講義、グループワーク、相互学習など
医療機関（病院等）や地域などで、歯科医師・歯科衛生士として患者や地域住民に対して、口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げること。

連続した授業には、配布プリントを必ず持参すること。

本科目は3年間の学びの中で学修したことがベースとなるので、事前に理解を深めておくことが必要となる。準備学習を行うことにより歯科衛生士としての役割を理解し、本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

【総括的評価】 授業態度(20%) レポート(80%)

【フィードバック】 試験結果（成績）は、課題レポート提出終了の後に掲示する。

6. 教科書

特に指定はしない。その都度、講義に適した論文、総説を提示する。

7. 参考書

1 日本歯周病学会編『歯周治療の指針2015』医歯薬出版

（日本歯周病学会ホームページからPDFファイルを無料でダウンロードできる）

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (水) 4限	永田	ユニット1-1 歯周病の発症機序 と宿主免疫応答 講義	1) 歯周病はどのように発症し進行するのか理解する。	(1) 歯肉炎の発症と歯周炎への進展、および修飾因子（局所のリスクファクター）について説明できる。 (2) 歯周病の診断マーカーについて説明できる。 (3) 宿主免疫応答の観点から歯周病の発症と進行を説明できる。	歯周疾患の発症と宿主免疫応答について調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
2	4/21 (水) 4限	永田	ユニット1-2 歯周病と全身の関連 講義	2) 歯周病と全身との関連を理解する。	(1) 歯周病の進行と悪化に及ぼす全身因子（全身のリスクファクター）を説明できる。 (2) 歯周病が全身に及ぼす影響を説明できる。 (3) 糖尿病と歯周病の深い関連を説明できる。	歯周病と全身の関連について調べる (予習1時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必要時 間	教育 目標 領域
3	4/28 (水) 4限	永田	ユニット1-3 歯周病の治療(1) 歯周病の診査・診 断・治療計画 講義	3) 歯周病の診査・診断 法・治療計画について理 解する	(1) 各種診査法、評価法を説明できる。 (2) 診断の必要性を理解する。 (3) 治療計画を立案できる。	歯周病の診 査・診断・ 治療計画につ いて調べる。 (予習1時間)	認知 (解釈)
4	5/26 (水) 4限	永田	ユニット1-4 歯周病の治療(2) 歯周基本治療 講義	4) 歯周基本治療の概念及 び種類・方法を理解す る。 再評価の意義を理解す る。	(1) 原因除去に基づいた基本治療の内容を説明 できる。〔ブラークコントロール、スケー リング・ルートプレーニング、咬合調整、暫間 固定等〕 (2) 再評価の意味を述べるができる。 (3) 外科処置あるいはメンテナンスへの移行 について説明できる。	基本治療及び 再評価の意味 について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈)
5	6/2 (水) 4限	永田	ユニット1-5 歯周病の治療(3) 歯周外科治療 講義	5) 歯周外科治療の種類と 方法を理解する。 歯周病の治療について 理解する。	(1) 歯周外科治療の種類と方法を説明できる。 (2) SPT/メンテナンスについて説明できる。 (3) ライフステージと歯周病について説明でき る。	歯周外科治療 及び治療の評 価について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈)
6	6/9 (水) 4限	谷口	ユニット3-1 周術期口腔健康管 理(1) 講義	1) 周術期の患者に対する 歯科衛生士の口腔健康 管理について理解する	(1) 周術期の患者に対する口腔健康管理の内容 について概説できる。 (2) 口腔健康管理による効果を述べる。	周術期の患者 に対する口腔 健康管理の意 義とその効果 について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈)
7	6/16 (水) 4限	谷口	ユニット3-1 周術期口腔健康管 理(2) 講義		(3) 他職種との連携における歯科衛生士の役割 を説明する。	周術期の多職 種連携におけ る歯科衛生士 の役割につい て調べる。 (予習1時間)	認知 (問題 解決)
8	6/18 (金) 4限	森田	ユニット4-1 急性期口腔健康管 理(1) 講義	1) 急性期の患者に対する 歯科衛生士の口腔健康 管理について理解する	(1) 急性期の患者に対する口腔健康管理の内容 について概説できる。	急性期の患者 に対する口腔 健康管理の意 義について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈)
9	6/23 (水) 4限	永田	ユニット2-1 歯周管理 講義	1) 我が国の医療保険制度 を理解する。	(1) 我が国の医療保険制度(歯科を含む)につ いて概説できる。 (2) 我が国の医療保険制度(歯科を含む)の課 題について説明できる。	我が国の医療 保険制度の課 題について調べ る。 (予習1時間)	認知 (問題 解決)
10	6/25 (金) 4限	森田	ユニット4-1 急性期口腔健康管 理(2) 講義	1) 急性期の患者に対する 歯科衛生士の口腔健康 管理について理解する	(2) 口腔健康管理による効果を述べる。 (3) 他職種との連携における歯科衛生士の役割 を説明できる。	急性期の患者 に対する口腔 健康管理の効果 について調べ る。 (予習1時間)	認知 (解釈)
11	7/12 (金) 4限	縄田	ユニット4-1 急性期口腔健康管 理(3) 講義・相互学習		(4) 急性期患者の口腔健康管理に必要な知識・ 技術力・指導力について説明できる。 (5) 症例供覧	供覧された症 例についてま とめる。 (復習1時間)	認知 (問題 解決)
12	7/14 (水) 2限	永田	ユニット2-2 歯周管理 講義	2) 我が国の歯科医療保険 制度を理解する。	(1) 歯科保険診療の内容について概説できる。 (2) 歯科診療の内容に対応する保険請求項目を 説明できる。	歯周管理にお ける保険請求 内容について 調べる。 (予習1時間)	認知 (問題 解決)
13	7/14 (水) 4限	高山	ユニット4-2 急性期口腔健康管 理(2) 講義・相互学習	2) 周術期・急性期患者の 口腔健康管理を理解す る	(1) 周術期・急性期患者の口腔健康管理に必要 な知識・技術力・指導力について説明でき る。 (2) 症例供覧	供覧された症 例についてま とめる。 (復習1時間)	認知 (問題 解決)
14	7/21 (水) 4限	原口	ユニット5-1 地域口腔健康管理 (1) 講義・グループワ ーク	1) 地域住民に対する歯科 衛生士の口腔健康管理 について理解する	(1) 地域で歯科衛生士が行う口腔健康管理の内 容について概説できる。 (2) 口腔健康管理による効果を述べる。	地域における 歯科衛生士の 役割について 調べる。 事前学習1時間	認知 (解釈)
15	7/28 (水) 4限	原口	ユニット5-2 地域口腔衛生管理 (2) 講義・グループワ ーク	2) 地域住民に対する歯科 衛生士の口腔健康管理につ いて理解する	(1) 他職種との連携における歯科衛生士の役割 を説明できる。	地域で行う口 腔健康管理の 効果について まとめる。 事前学習1時間	認知 (問題 解決)

先端臨床歯科学

開講時期 前期
 授業時間数 15コマ：30時間 2単位
 受験資格要件 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号 HP211203
 評価責任者 泉 喜和子
 授業担当者 泉 喜和子、橋本憲一郎
 森本太一朗、古賀千尋、永田俊彦
 中園栄里、青木隆宜、葉山揚介

1. 一般目標

歯科医療技術における研究が急速に進み、現在では臨床応用が盛んに行われている顎変形症の外科的矯正治療、口腔がん、インプラント治療、歯周外科におけるGTR・GBR法、レーザー治療、顕微鏡診療など、先端歯科医療の理論、治療法、術式・術後管理等を理解させる。さらに、最近歯科においても注目されている生体材料・再生医療、歯科心身症への対応についても現状と展望について理解することを到達目標とする。

2. 教育方法

スライド、論文、プリントによる講義を行う。

3. 教育教材

配布プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

本講義を理解する上で口腔外科学、歯科補綴学(口腔インプラント学)、歯周病学、保存修復学、情報処理概論等の知識が必要である。下記の各授業内容項目に記載された対応科目に目を通すなど、事前学習（予習）を怠らないこと。

授業中はノートを取る。各授業担当者よりレポート課題を与えるので、授業後は配布資料や指定された論文等で講義内容の確認を行い、レポートを作成すること。レポートの提出期日を厳守すること。

また本講義は専攻研究と関連があり、理解に不可欠である。

【単位取得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価方法

[総括的評価] 授業態度(20%) レポート(80%)

[フィードバック] 成績は、掲示にて発表する。

6. 教科書

特に指定はしない、その講義に適した論文、総説等

7. 参考書

- 1 日本歯周病学会編『歯周病患者における再生治療のガイドライン』医歯薬出版
 （日本歯周病学会のホームページからPDFファイルを無料でダウンロードできる）
- 2 和気裕之、渋谷智明、目加田まり 著『デンタルスタッフのための歯科心身症ガイドブック』医歯薬出版

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標	行動目標(SBOs)	内 容	予習・ 復習項 目と必 要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (水) 2限	泉	ユニット1 顎変形症	外科的矯正治療の流れ・顎矯正手術の見識を深め、口腔筋機能訓練の必要性を理解する。	1) 外科的矯正治療の流れを説明できる。 2) 顎矯正手術を説明する。 3) 歯科衛生士としての対応を述べる。	1) 顎変形症の診断と手術方針 2) 症例供覧と手術介助 3) 顎変形症患者の顎口腔機能	予習・ 復習 1 時間	認知 (解釈)
2	4/28 (水) 2限	橋本	ユニット2-1 口腔がん	診査・診断法・治療計画について理解する。	1) 各種診査法、評価法を述べる。 2) 診断の必要性を述べる。 3) 治療計画を説明する。	1) 口腔がんの診断法と治療方針 2) 治療後の後遺症 3) 症例供覧と手術介助	予習・ 復習 1 時間	認知 (解釈)
3	4/30 (金) 2限	橋本	ユニット2-2 感染対策ICT (1)	感染症を理解する。	1) 感染のメカニズムを概説できる。 2) 感染経路対策の基礎を説明できる。 3) 感染症の種類を説明できる。	1) 感染のメカニズム 2) 感染経路と対策 3) 感染時の症状と治療	予習・ 復習 1 時間	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標	行動目標	内容	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
4	5/14 (金) 2限	橋本	ユニット2-2 感染対策ICT (2)		1) 歯科医療従事者と感染症の関係を説明できる。 2) 先行事例供覧	1) 歯科における感染の特徴 2) 歯科的感染対策の実際 3) 国内外での感染事例	予習・復習1時間	認知 (解釈)
5	5/19 (水) 2限	森本	ユニット3-1 口腔インプラント治療 (1)	種類と構造、手順を理解する。	1) 画像検査・診断・その他の検査を説明できる。 2) 治療計画の段階を説明できる。 3) 患者への説明内容を説明できる。 4) インプラント埋入手術の手順を説明できる。	1) 検査の種類 2) インフォームドコンセント 3) 患者教育と口腔衛生指導 4) 検査と全身および局所の評価 5) 手術器材の準備・消毒・滅菌法 6) 手術介助	予習・復習1時間	認知 (解釈)
6	5/26 (水) 2限	森本	ユニット3-2 口腔インプラント治療 (2)	歯科衛生士の役割を理解する。			予習・復習1時間	認知 (解釈)
7	6/2 (水) 2限	古賀	ユニット4-1 歯科心身症 (1)	歯科心身症の概要を理解する。	1) 歯科心身症について概説できる。 2) 代表的な歯科心身症の種類を説明できる。 3) 症状を説明できる。	1) 歯科心身症の診断	予習・復習1時間	認知 (解釈)
8	6/9 (水) 2限	古賀	ユニット4-2 歯科心身症 (2)	歯科心身症患者を実際の症例を通して理解する。	1) 実際の症例から歯科心身症を理解する。 2) 歯科衛生士としての対応法を説明できる。	1) 症例供覧	予習・復習1時間	認知 (解釈)
9	6/16 (水) 2限	永田	ユニット5-1 歯周組織再生療法(1)	再生治療とは何かについて理解する。	1) 臓器別の再生治療について説明できる。 2) ES細胞、iPS細胞、体性幹細胞について説明できる。	1) 組織の代謝回転(ターンオーバー) 2) 再生治療の手法 3) 再生治療の現状	予習・復習1時間	認知 (解釈)
10	6/23 (水) 2限	永田	ユニット5-2 歯周組織再生療法(2)	歯科分野の再生治療の可能性および歯周組織再生療法の実際について理解する。	1) 口腔組織の再生治療の可能性について理解する。 2) 歯周組織再生療法を説明できる。	1) 歯の再生、顎堤の再生、歯髄の再生 2) GTR法、EMDおよびFGFを用いた歯周組織再生療法	予習・復習1時間	認知 (解釈)
11	6/30 (水) 2限	永田	ユニット6-1 遺伝子治療	ヒトゲノムのしくみを理解する。	1) ヒトゲノムの基本知識を概説できる。 2) 遺伝情報の転写と翻訳、遺伝子組み換えについて概説できる。	1) ヒトゲノムとは 2) 遺伝の形式 3) 遺伝子組換え技術	予習・復習1時間	認知 (解釈)
12	7/7 (水) 2限	永田	ユニット6-2 遺伝子治療	遺伝子疾患、遺伝子治療について理解する。	1) 遺伝子疾患について説明できる。 2) 遺伝子診断、遺伝子治療の実際について説明できる。	1) 遺伝子疾患の種類 2) 遺伝子治療の実際	予習・復習1時間	認知 (解釈)
13	7/9 (金) 2限	中園	ユニット4 口腔保健統計 (1)	保健統計を理解する。	1) 歯科保健統計の種類を述べる。 2) 情報の分析手法を説明できる。	1) 保健情報の収集方法 2) 対象者の選定 3) 質問紙調査	予習・復習1時間	認知 (解釈)
14	7/21 (水) 2限	中園	ユニット4 口腔保健統計 (2)	保健統計を理解する。	1) 歯科保健統計の種類を述べる。 2) 情報の分析手法を説明できる。	1) 保健情報の分析 2) 検定 3) 結果の表示	予習・復習1時間	認知 (解釈)
15	7/28 (水) 2限	青木 葉山	ユニット8 顕微鏡歯科診療	マイクロスコープを活用したハイジニストワークの有効性を理解する。	1) マイクロスコープについて概要できる。 2) マイクロスコープを活用する歯科診療内容を説明できる。 3) マイクロスコープを活用する歯科衛生業務を説明できる。 4) 認定歯科衛生士について説明できる。	1) マイクロスコープの概要 2) 歯科診療内容 3) 歯科衛生士業務での活用と有効性	予習・復習1時間	認知 (解釈)

専攻研究

開講時期	後期
授業時間数	30コマ：60時間 4単位
受験資格要件	2/3（20コマ）以上の出席
科目番号	HP211204
評価責任者	貴島 聡子
教員：	田口、堀部、力丸、松尾、泉、 古野、後藤、貴島、黒木、石井、 中園

1. 一般目標

口腔保健衛生学は生涯にわたって口腔領域の健康を維持・増進し、また口腔機能の回復を図り、人々の健康を支援するための理論や知識、技術に関する学問領域である。本科目は、歯科衛生学科の3年間および専攻科において学んだ知識と技術の総括として、臨床歯科医学（口腔治療系、咬合修復・歯科材料系、口腔機能系）および口腔保健管理学の中から学生が選択した分野において、指導教員のもとに研究課題を模索し研究を実施することを通して、批判的、合理的な思考力や、生涯にわたって学び続ける力および主体的に考える力を培う。

2. 教育方法

研究課題を決め、計画に沿ってアクティブラーニング形式により、研究論文（学習成果レポート）を作成する。
研究成果をプレゼンテーションにより発表する。
文献抄読では、選択論文1編、指定論文1編を要約し、プレゼンテーションによる発表を行う。

◎口腔治療系（力丸、貴島）

歯の漂白に関する研究、歯科医療におけるアロマの応用、歯内治療の薬剤について、歯周治療とメンテナンス、歯周疾患と全身疾患、歯周疾患の原因と治療

◎口腔機能系（田口、泉、中園）

歯科矯正治療における口腔保健管理、口腔周囲筋機能と矯正治療、顎矯正手術患者の周術期管理、小児歯科における口腔保健管理

◎咬合修復・歯科材料系（後藤、石井）

補綴・インプラント治療における歯科衛生士の役割、義歯安定剤について、補綴治療における接着技術の現状と展望、義歯の取り扱いと管理法、歯科保湿剤・歯磨剤・洗口剤について

◎口腔保健管理学（堀部、松尾、古野、黒木）

う蝕予防のための口腔保健管理、歯周疾患予防のための口腔保健管理、口腔機能向上支援における歯科衛生士の役割、各ライフステージにおける口腔保健管理と歯科衛生士の役割、周術期における口腔保健管理と歯科衛生士の役割、終末期における口腔保健管理と歯科衛生士の役割

3. 教育教材

プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。プレゼンテーションの準備を怠らないこと。
【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：30時間】

5. 評価方法

[総括的評価] ①抄読会発表（10%）、②研究成果プレゼンテーション（15%）、③研究論文（60%）および④研究指導（15%）について、それぞれの評価の観点に基づき評価（ルーブリック評価）し、①～④の評定の合計が70点以上を合格とする。

[フィードバック] 評点は評価終了後に掲示する。

6. 教科書

特に指定はしない

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/8 (水) 1限	貴島 泉	ユニット1 研究課題 研究計画 講義	1) 自身の興味関心のある課題を整理する。 2) 先行研究を整理する。 3) 要約する。	1) 興味関心のある分野について述べることができる。 2) 関連するキーワードを5つ抽出する。 3) 先行研究を検索することができる。 4) 特に関連する研究を2編選出する。 5) 先行研究から現在の課題を整理することができる。 6) 研究の社会的意義を説明することができる。 * 選択論文プレゼン媒体提出	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
2 3	9/10 (金) 3-4限	貴島 田口 堀部 力丸 松尾 泉 後藤	ユニット2 文献抄読(1) アクティブラーニング	1) 指定論文の要約を発表する。	1) 指定論文についてプレゼンテーションできる。 2) 発表内容を理解することができる。 3) 他者の発表内容に対し意見を述べることができる。	配布資料を精読し、復習する。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
4	9/15 (水) 1限	貴島 田口 堀部 力丸 松尾 泉 後藤	ユニット2 文献抄読(1) アクティブラーニング	1) 指定論文の要約を発表する。	1) 指定論文についてプレゼンテーションできる。 2) 発表内容を理解することができる。 3) 他者の発表内容に対し意見を述べることができる。	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
5	9/15 (水) 2限	貴島 泉	ユニット2 文献抄読(2) 講義、アクティブラーニング	1) 選択論文を要約する。	1) 先行研究から現在の課題を整理することができる。 2) 研究の社会的意義を説明することができる。 * 学位授与機構申請データ入力方法説明・入力(認定)(特例)	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
6 7	9/17 (金) 3-4限	貴島 泉	ユニット2 文献抄読(2) 講義、アクティブラーニング	1) 選択論文を要約する。	1) 先行研究から現在の課題を整理することができる。 2) 研究の社会的意義を説明することができる。 * 学位授与機構申請データ入力(認定)(特例)	配布資料を精読し、復習する。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動
8	9/22 (水) 2限	貴島 田口 堀部 力丸 松尾 泉 後藤	ユニット2 文献抄読(2) アクティブラーニング	1) 選択論文の要約を発表する。	1) 選択論文についてプレゼンテーションできる。 2) 発表内容を理解することができる。 3) 他者の発表内容に対し意見を述べることができる。	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
9	9/24 (金) 1限	貴島 泉	ユニット2 文献抄読(2) 講義、アクティブラーニング	1) 選択論文を要約する。	1) 先行研究から現在の課題を整理することができる。 2) 研究の社会的意義を説明することができる。 * 学位授与機構申請データ入力修正(認定)(特例)	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動
10 11	9/24 (金) 3-4限	貴島 田口 堀部 力丸 松尾 泉 後藤	ユニット2 文献抄読(2) アクティブラーニング	1) 選択論文の要約を発表する。	1) 選択論文についてプレゼンテーションできる。 2) 発表内容を理解することができる。 3) 他者の発表内容に対し意見を述べることができる。	配布資料を精読し、復習する。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
12	9/29 (水) 2限	貴島 泉	ユニット3 レポートまとめ (1) アクティブラーニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究テーマに関連する文献を分析できる。 2) 発見した知見をレポートにまとめる。 * 学習成果レポート・要旨(最終完成)(認定)	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
13 14	10/9 (水) 1-2限	貴島 泉	ユニット3 レポートまとめ (1) アクティブラーニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究テーマに関連する文献を分析できる。 2) 発見した知見をレポートにまとめる。	配布資料を精読し、復習する。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
15	10/8 (金) 1限	貴島 泉	ユニット3 レポートまとめ (1) アクティブラーニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究テーマに関連する文献を分析できる。 2) 発見した知見をレポートにまとめる。	配布資料を精読し、復習する。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
16 17	10/20 (水) 1-2限	貴島 泉	ユニット3 レポートまとめ (1) アクティブラー ニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究テーマに関連する文献を分析できる。 2) 発見した知見をレポートにまとめる。	配布資料を精 読し、復習す る。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
18	10/22 (金) 1限	貴島 泉	ユニット3 レポートまとめ (1) アクティブラー ニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究テーマに関連する文献を分析できる。 2) 発見した知見をレポートにまとめる。 * 学習成果レポート・要旨提出①：主指導者へ1 部(紙媒体・データ)	配布資料を精 読し、復習す る。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
19 20	10/29 (金) 3-4限	貴島 泉	ユニット4 レポートまとめ (2) アクティブラー ニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究成果レポートの修正	配布資料を精 読し、復習す る。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動
21	11/5 (金) 1限	貴島 泉	ユニット4 レポートまとめ (2) アクティブラー ニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究成果レポートの修正	配布資料を精 読し、復習す る。1時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
22 23	11/10 (水) 1-2限	貴島 泉	ユニット4 レポートまとめ (2) アクティブラー ニング	1) 研究成果をレポートにまとめる	1) 研究成果レポートの修正 * 成果レポート提出②：担任へ3部 [教員によるルーブリック評価]	配布資料を精 読し、復習す る。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)
24 25 26	11/12 (金) 1限 11/19 (金) 1限 11/26 (金) 1限	貴島 泉	ユニット4 抄録・プレゼンテ ーション・成果の 要旨作成	1) 研究成果のプレゼンテーショ ンを作成する 2) 発表抄録を作成する 3) 成果の要旨をまとめる	1) 研究成果レポートを完成させる	配布資料を精 読し、復習す る。3時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動
27 28	12/17 (金) 1,4限	貴島 泉	ユニット5 抄録・プレゼンテ ーション・成果の 要旨作成 レポート校正 アクティブラー ニング	1) 研究成果のプレゼンテーショ ンを作成する 2) 発表抄録を作成す 3) 成果の要旨をまとめる 4) 成果のレポートを完成させる	1) プレゼンテーションを完成させる。 2) 発表抄録を完成させる。 3) 成果の要旨を作成する。(特例)	配布資料を精 読し、復習す る。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運 (模倣)
29 30	1/14 (金) 2-3限	貴島 田口 堀部 カ丸 松尾 泉 後藤	ユニット6 専攻研究発表 アクティブラー ニング	研究成果をプレゼンテーションに より発表する [ルーブリック評価]	研究成果プレゼンテーションの発表	配布資料を精 読し、復習す る。2時間	認知(想起) 情意(受入) 精神運動 (模倣)

地域口腔介護実習

開講時期 後期
 授業時間数 23コマ：45時間 1単位
 受験資格要件 4/5（19コマ）以上の出席
 科目番号 HP211205
 評価責任者 貴島 聡子

教員： 松尾、堀部、力丸、泉、後藤、貴島、
 黒木、石井、川尻、森、升井
 高木、中園、古野、秋竹、高木

1. 一般目標

地域を主体とする疾病予防や健康増進からリハビリテーションに至る包括的な保健・医療・福祉が求められている。平成18年度改正介護保険には“口腔機能の向上”が介護予防の一つとして取り上げられ、地域の介護施設等の現場で歯科衛生士が多職種と連携をとりながら、要介護高齢者に対して器質的・機能的口腔ケアを実践する場面が増えている。

本実習は（1）「口腔介護技術（演習）」の教育実習（12時間）、（2）地域高齢者および介護施設職員を対象とする口腔機能向上支援に関する研修会（セミナー）の企画および開催（34時間）により構成し、45時間1単位とする。これらの履修により、地域における口腔介護の専門知識と技術を修得する。

2. 教育方法

1. 歯科衛生学科2年次後期の「口腔介護技術（演習）」にアシスタントティーチャーとして参加し、実技指導を行う。専攻科生を3グループに分け、それぞれ3回（4時間×3回＝12時間）を担当する。内容は①摂食・嚥下機能のアセスメント、②口腔リハビリ、③口腔ケアの方法、④食事介助、⑤生活介助、⑥緊急時の対応、⑦コミュニケーション・レクリエーション技術、⑧口腔ケアプラン、⑨障害・形態別口腔ケアである。
2. ①地域高齢者対象セミナー2グループ（Aグループ6名、Bグループ6名、指導教員6名）、②介護保険施設職員対象セミナー2グループ（Aグループ6名、Bグループ6名、指導教員6名）に分かれ、それぞれに口腔機能向上支援をメインテーマとするセミナー（集団指導および個人指導）を企画立案し、アクティブラーニング形式により集団指導の媒体作製を行い、その成果を公開発表会においてプレゼンテーションする。地域高齢者および地域高齢者施設職員を対象とする口腔機能向上支援に関する研修会の企画および開催（34時間）

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。プレゼンテーションの準備を怠らないこと。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：11時間】

5. 評価方法

【総括的評価】 プレゼンテーション(100%)

【フィードバック】 成績は評価終了後に掲示する。

6. 教科書

特に指定しない。

【歯科衛生学科2年次「口腔介護技術（演習）」の教育実習（6コマ12時間）】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1 ・ 2	【Ⅰ】 10/27 (水) 1-2限	泉 貴島 高木	ユニット1-1 教育実習 (AT1)	1)口腔介護技術の指導方法を理解する。	(1)歯科衛生学科の学生に対して口腔介護技術の実習指導が出来る。 ①摂食・嚥下機能のアセスメント ②口腔リハビリ ③口腔ケアの方法 ④食事介助 ⑤生活介助 ⑥緊急時の対応 ⑦コミュニケーション・レクリエーション技術 ⑧口腔ケアプラン ⑨障害・形態別口腔ケア	摂食・嚥下機能について高齢者歯科の教科書を復習 2時間	精神・ 運動 (模倣)
	【Ⅱ】 10/27 (水) 1-2限	秋竹	ユニット1-1 教育実習 (AT1)				
	【Ⅲ】 11/17 (水) 1-2限	泉 貴島 高木	ユニット1-1 教育実習 (AT1)				

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目 と 必要時間	教育 目標 領域
3 ・ 4	【Ⅰ】 11/17 (水) 1-2限	黒木 川尻 松尾 貴島	ユニット1-2 教育実習 (AT2)	2)口腔介護技術の指導方法を理解する。	(1)歯科衛生学科の学生に対して口腔介護技術の実習指導が出来る。 実習項目上記の①～⑨と同じ	摂食・嚥下機能について高齢者歯科の教科書を復習 2時間	精神・ 運動 (模倣)
	【Ⅱ】 11/24 (水) 1-2限	堀部 泉 川尻	ユニット1-2 教育実習 (AT2)				
	【Ⅲ】 11/24 (水) 1-2限	黒木 川尻 松尾 貴島	ユニット1-2 教育実習 (AT2)				
5 ・ 6	【Ⅰ】 12/22 (水) 1-2限	川尻 後藤 黒木 森	ユニット1-3 教育実習 (AT3)	3)口腔介護技術の指導方法を理解する。	(1)歯科衛生学科の学生に対して口腔介護技術の実習指導が出来る。 実習項目上記の①～⑨と同じ	摂食・嚥下機能について高齢者歯科の教科書を復習 2時間	精神・ 運動 (模倣)
	【Ⅱ】 12/22 (水) 1-2限	川尻 後藤 黒木 森	ユニット1-3 教育実習 (AT3)				
	【Ⅲ】 12/22 (水) 1-2限	川尻 後藤 黒木 森	ユニット1-3 教育実習 (AT3)				

【口腔機能向上支援に関する研修会の企画および開催（17コマ34時間）】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目 と 必要時間	教育 目標 領域
1 ・ 2	10/1 (金) 3～4限	松尾 堀部	ユニット2-1 口腔介護研修会 (1) 計画立案 A・L	1)高齢者・要介護者の口腔機能向上支援の方法を理解する。	(1)口腔機能向上支援に関わる研究テーマを決める。 (2)セミナー課題に関連する先行研究の情報収集ができる。	研究テーマの学修(予習1時間、復習1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
			ユニット2-1 口腔介護研修会 (1) 計画立案・情報収集 A・L			先行研究の学修(予習1時間、復習1時間)	
5 ・ 6	11/5 (金) 3～4限	松尾 堀部	ユニット2-2 口腔介護研修会 (2) 教育プラン立案 (目標設定・情報収集) 地域高齢者対象 セミナーグループ (指導教員:堀部、 後藤、森、力丸、 石井、川尻) 介護保険施設職員 対象セミナー グループ(指導教員: 貴島、南、升井、 松尾、泉、黒木) A・L	2)課題を歯科衛生士の視点から分析する	(1)セミナー課題に関連する先行研究の情報収集ができる。 (2)セミナー課題に関連する先行研究の情報から、指導の要点を列挙できる。	先行研究の情報から指導の要点をまとめる(予習1時間、復習1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
			ユニット2-3 口腔介護研修会 (2) 教育プラン立案 (目標設定・情報収集)			3)課題を歯科衛生士の視点から分析する	
7 ・ 8	11/12 (金) 3～4限	松尾 堀部	ユニット2-3 口腔介護研修会 (2) 教育プラン立案 (目標設定・情報収集)	3)課題を歯科衛生士の視点から分析する	(1)セミナー課題に関連する先行研究の情報収集ができる。 (2)セミナー課題に関連する先行研究の情報から、指導の要点を列挙できる。	先行研究の情報から指導の要点をまとめる(予習1時間、復習1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目 と 必要時間	教育 目標 領域
9	11/19 (金) 3限	松尾 堀部	ユニット2-3 口腔介護研修会 (2) 教育プラン立案 (目標設定・情報 収集)	3)課題を歯科衛生士の視 点から分析する	(1)セミナー課題に関連する先行研究の情報 収集ができる。 (2)セミナー課題に関連する先行研究の情報 から、指導の要点を列挙できる。	先行研究 の情報から 指導の 要点をま とめる(予 習1時間、 復習1時 間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
10 ・ 11	11/26 (金) 3~4限	堀部 後藤 森 カ丸 石井 川尻 貴島 高木 升井 松尾 泉 黒木 古野 秋竹 中園	ユニット3 口腔介護研修会 (3) 教育プラン発表 A・L	1)各グループで企画案を 発表する。	(1)セミナーの企画書(計画書)を作成し、概要を説 明できる。	セミナー の企画書 の作成に ついて学 修する(予 習1時間、 復習1時 間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
12 ・ 13	12/3 (金) 3~4限	松尾 堀部	ユニット4-1 口腔介護研修会 (4) プレゼン資料作 成 A・L	1)セミナーの対象者に適 した表現によるパワーポ イントや原稿の作成を理 解する。 セミナーの対象者に適し た表現によるパワーポ イントや原稿の作成を理 解する。	1) プレゼンテーションを作成する 2) 配布資料を作成する 1) プレゼンテーションを作成する 2) 配布資料を作成する	プレゼン テーシ ョンを 作成 につ いて 学修 する (予習 1時 間、 復習 1時 間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
14 ・ 15	12/8 (水) 1~2限	松尾 堀部				プレゼン テーシ ョンを 作成 につ いて 学修 する (予習 1時 間、 復習 1時 間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
16 ・ 17	12/15 (水) 1~2限	松尾 堀部	ユニット4-2 口腔介護研修会 (4) プレゼン資料修 正 A・L	セミナーの対象者に適し た表現によるパワーポ イントや原稿の作成を再度 理解する。	1) プレゼンテーションを修正する 2) 配布資料を修正する	プレゼン テーシ ョンを 作成 につ いて 学修 する (予習 1時 間、 復習 1時 間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神・ 運動 (模倣)
					セミナー実施日 地域高齢者対象セミナー 1月 日(月) Aグループ【堀部、後藤、森、 1月 日(月) Bグループ カ丸、石井、川尻】 介護施設職員対象セミナー 1月 日(金) Aグループ【貴島、南、升井、 2月 日(金) Bグループ 松尾、泉、黒木】		

歯科臨床実地

開講時期	通年
授業時間数	225 コマ ; 450 時間 10 単位
受験資格要件	4/5 (180 コマ) 以上の出席
科目番号	HP211206
評価責任者	貴島聡子
授業担当者	指導主任歯科医師、指導主任歯科衛生士

1. 一般目標

本授業は歯科衛生学科で修得した基礎分野・専門基礎分野・専門分野の知識・技術・態度を基礎として、学位授与の方針に示された高い倫理観の下、専門分野の高度な知識、技術を修得し、科学的根拠に基づいた口腔保健衛生の実践、国際化社会に対応できるコミュニケーション能力、ICT を活用した情報処理能力、歯科衛生士のリーダーとしての能力を修得するため、福岡歯科大学医科歯科総合病院の専門診療科（総合歯科・訪問歯科センター、高齢者歯科、保存（むし歯）科、歯周病科、補綴（入れ歯）科、口腔インプラント科、口腔外科、矯正歯科、小児歯科、障害者歯科、口腔医療センター）で専門技能を実践し、各診療科で開かれる症例検討会や抄読会のほか、病院内の教員及び医療職員とのコミュニケーションの醸成を図り、歯科衛生士のリーダーに相応しい知識と技術ならびに医療人としての人格を備えることを目標とする。

2. 教育方法

実習 [アクティブラーニング]、演習 [ケースレポート]、小グループ学習

医療機関で歯科医師・歯科衛生士として、患者に対して診療行為や口腔保健管理に関わった実務経験を生かした実践教育を行う。

3. 教育教材 福岡医療短期大学歯科衛生学科・専攻科臨床実地マニュアル、プリント資料

4. 学修方法

各診療系における治療の概念のもと、これまでに得た知識を総合的に組み立て、臨床現場における問題の解決が図れるよう実践的教育の場として、医科歯科総合病院や口腔医療センターにおいて診療の補助行為および口腔保健管理の介入手法を学修する。

授業開始時間は原則として午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分（昼休み 1 時間含む）までとするが、診療の都合により午後 5 時 30 分以降に延長することがある。日頃各科で行われる症例検討会等には積極的に参加し、理解できないことについては質問すること。また、興味ある事項を見つけ、専攻科終了までに 1 編以上の学会発表と論文作成を行うことを目標とする。

実習報告書の提出は締め切り期日を守り、指導者の検印を受けること。当日行った授業内容について、次回実習までに復習し、疑問点は教科書、参考書、あるいは指導者、短大教員に質問し、疑問を解消しておくこと。学修のために教科書または必要な参考書を実習施設に各自携行すること。又、教科書等で解決できない疑問等については情報図書館を利用することや、教員に質問することで解決すること。

3 年次で行った臨床実習を基に、各自が専攻した診療科での学びが歯科保健医療の指導者となり得ることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：45時間】

5. 評価方法

【形成的評価とフィードバック】 ケースレポートを指導者が添削し、不十分な部分についてコメントする。必要な場合は再提出を求める。

【総括的評価】 ケースレポート(30%)、臨床実地指導者による評価(60%)、短大担当教員による評価(10%)

6. 教科書

特になし

7. 参考書

各専攻診療科が指示する図書のほか、診療科に関連する雑誌・学会誌など

【総合歯科・訪問歯科センター】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	松尾, 黒木 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 歯科医師と共に包括 的歯科診療計画の作成に 参加する 2) 他科との連携を診療 計画に組み込む 3) 総合歯科、訪問歯科 センターでの診療を実施 する 4) 将来の歯科衛生士のリ ーダーとして、その基本 的な考え方、技術を身に つける	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べるこ とができる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明するこ とができる (3) 臨床実地における自 己の目標を述べるこ とができる (1) 患者の訴えや希望を 正確に聴き取り一口腔単 位での問題点を総合的に 把握できる (2) 他の専門診療科に 依頼して診療を実施す ることができる (3) 歯科診療補助、歯科予 防処置ならびに歯科保健指 導を実施することができる (4) 歯科疾患の予防およ び地域住民の口腔衛生の 向上を図ることができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0 時 間/日)	認知 (解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	松尾, 黒木 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 歯科医師と共に包括 的歯科診療計画の作成に 参加する 2) 他科との連携を診療 計画に組み込む 3) 総合歯科、訪問歯科 センターでの診療を実施 する 4) 将来の歯科衛生士のリ ーダーとして、その基本 的な考え方、技術を身に つける 5) 訪問口腔衛生指導を 必要とする対象者に実施 する 6) 各種訪問施設における 多職種との連携の手法を 身につける	(1) 患者の訴えや希望を 正確に聴き取り一口腔単 位での問題点を総合的に 把握できる (2) 他の専門診療科に 依頼して診療を実施す ることができる (3) 歯科診療補助、歯科予 防処置ならびに歯科保健指 導を実施することができる (4) 歯科疾患の予防およ び地域住民の口腔衛生の 向上を図ることができる (5) 訪問施設での口腔衛 生指導を実施するこ とができる (6) 多職種職員との情報 伝達を図ることができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0 時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【高齢者歯科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	松尾, 黒木 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 有病高齢者に良質な 歯科医療を提供できる 2) 専門的な口腔ケアや保 健指導、栄養指導、介助者 への指導を実施する	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 高齢者の身体的、心 理的な特徴を理解する (2) 有病高齢者の基礎 疾患に留意する (1) 高度な口腔保健の 知識と技術を修得する	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知(解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	松尾, 黒木 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 有病高齢者に良質な 歯科医療を提供できる 2) 専門的な口腔ケアや保 健指導、栄養指導、介助者 への指導を実施する	(1) 高齢者の身体的、心 理的な特徴を理解する (2) 有病高齢者の基礎 疾患に留意する (1) 高度な口腔保健の 知識と技術を修得する	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【保存（むし歯）科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	カ丸, 貴島 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 保存外来患者の診療 に必要な知識（保存修復 学、歯内療法学、歯周病 学）を修得する 2) 保存治療における歯 科衛生士に必要とされる 技能について十分に修得 する	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 口腔内診査ができる (1) 術野のコントロー ルと介助ができる (2) 保存修復治療の診 療補助ができる (3) 歯内治療の診療補 助ができる (4) 歯周治療の診療補 助ができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解（0.5 時間） 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する （1.0時 間/日）	認知（解 釈・問題 解決） 精神運動 （コント ロール） 情意 （反応・ 内面化）
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	カ丸, 貴島 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 保存外来患者の診療 に必要な知識（保存修復 学、歯内療法学、歯周病 学）を修得する 2) 保存治療における歯 科衛生士に必要とされる技能 について十分に修得する	(1) 口腔内診査ができる (1) 術野のコントロー ルと介助ができる (2) 保存修復治療の診 療補助ができる (3) 歯内治療の診療補 助ができる (4) 歯周治療の診療補 助ができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する （1.0時 間/日）	精神運動 （コント ロール・ 自動化） 情意 （反応・ 内面化）

【歯周病科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	カ丸, 貴島 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 歯周疾患における診 断能力を向上する 2) 診査結果を分析し、 歯科医師とともに適確な 診断を導く 3) 治療計画を立て、最 適化を図る。 4) 症例を詳細に分析 し、歯周病症例のプレゼ ンテーションを行う 5) 歯周基本治療につい て習熟する 6) 歯周外科処置の術式 を修得し、確実なアシス トを行う	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 各種診査項目に用い る器械・器具・診査用紙 を臨床で使用する (2) 診査結果を分析す る (3) 治療計画を立てる (4) 症例に関する分析結 果を発表する (5) 歯周基本治療を実施 する (6) 歯周外科治療のアシ ストができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知 (解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	カ丸, 貴島 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 歯周疾患における診 断能力を向上する 2) 診査結果を分析し、 歯科医師とともに適確な 診断を導く 3) 治療計画を立て、最 適化を図る。 4) 症例を詳細に分析 し、歯周病症例のプレゼ ンテーションを行う 5) 歯周基本治療につい て習熟する 6) 歯周外科処置の術 式を修得し、確実なア シストを行う	(1) 各種診査項目に用い る器械・器具・診査用紙 を臨床で使用する (2) 診査結果を分析す る (3) 治療計画を立てる (4) 症例に関する分析結 果を発表する (5) 歯周基本治療を実施 する (6) 歯周外科治療のアシ ストができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【補綴（入れ歯）科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	後藤, 森 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解(0.5 時間)	認知(解 釈・問題 解決)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	後藤, 森 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 歯科医師と連携でき る 2) 修復物に対応した予後 管理ができる 3) 治療全体の流れと技工 操作との関連を理解する	(1) 補綴治療の診療補助 ができる (2) 患者セルフケアを 確認し、指導できる (3) 補綴物の調整、修 理、除去に必要な機材、 器具を準備できる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【口腔インプラント科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	後藤, 石井 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 術前口腔管理ができ る 2) 診療介助ができる 3) 術後口腔管理ができる	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 口腔刷掃指導ができ る (2) 口腔インプラント手 術の介助ができる (3) 治療後の口腔衛生管 理指導ができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知(解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	後藤, 石井 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 術前口腔管理ができ る 2) 診療介助ができる 3) 術後口腔管理ができ る	(1) 口腔刷掃指導ができ る (2) 口腔インプラント手 術の介助ができる (3) 治療後の口腔衛生管 理指導ができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【口腔外科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	泉, 川尻 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 各種疾患の診断過程と 治療の概略を理解する 2) 外来での検査や処置、 手術の介助を習熟する 3) 手術室における手術お よび全身麻酔の補助を経験 する 4) 入院患者の口腔清掃指 導および口腔管理を実施す る	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) バイタルサインを採 取できる (2) 病歴聴取、各種診査 の介助を行うことができる (3) 各種手術の介助がで きる (4) 周術期口腔機能管理 ができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知 (解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	泉, 川尻 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 各種疾患の診断過程 と治療の概略を理解する 2) 外来での検査や処 置、手術の介助を習熟す る 3) 手術室における手術 および全身麻酔の補助を 経験する 4) 入院患者の口腔清掃 指導および口腔管理を実 施する	(1) バイタルサインを採 取できる (2) 病歴聴取、各種診査 の介助を行うことができる (3) 各種手術の介助がで きる (4) 周術期口腔機能管理 ができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【小児歯科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	松尾, 川尻 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 歯、歯周組織、顎顔 面および口腔の成長と機 能的発達を理解する 2) それら諸構造の異常 や不正な成長発育からひ き起こされる種々の問題 点を改善する 3) 基本的治療概念と診 療補助での基本動作を修 得する 4) それらの異常の発生を 予防するための技術およ び研究方法を学修する	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 小児臨床心理を理解 する (2) 診療補助ができる (3) う蝕活動性試験を実 施し、評価する (4) ブラッシング指導が できる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知 (解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	松尾, 川尻 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 歯、歯周組織、顎顔 面および口腔の成長と機 能的発達を理解する 2) それら諸構造の異常 や不正な成長発育からひ き起こされる種々の問題 点を改善する 3) 基本的治療概念と診 療補助での基本動作を修 得する 4) それらの異常の発生 を予防するための技術お よび研究方法を学修する	(1) 小児臨床心理を理解 する (2) 診療補助ができる (3) う蝕活動性試験を実 施し、評価する (4) ブラッシング指導が できる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【矯正歯科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	泉, 力丸 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 矯正歯科での診査、 診断、治療の流れを理解 する 2) 矯正治療に使用する器 材の準備、診療補助および 資料採得の補助を習熟す る。 3) 口腔衛生指導管理法を 修得する 4) 口腔保健計画を立案 する 5) 口腔機能改善法を修 得する	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 不正咬合の診断と治 療を理解する (2) 診療補助ができる (3) 口腔清掃指導方法 を修得する (4) 口腔保健計画の立 案方法を理解する (5) 筋機能療法の指導 方法を実施する	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知(解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	泉, 力丸 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット3 [実習]	1) 矯正歯科での診査、 診断、治療の流れを理解 する 2) 矯正治療に使用する器 材の準備、診療補助および 資料採得の補助を習熟す る。 3) 口腔衛生指導管理法を 修得する 4) 口腔保健計画を立案 する 5) 口腔機能改善法を修 得する	(1) 不正咬合の診断と治 療を理解する (2) 診療補助ができる (3) 口腔清掃指導方法 を修得する (4) 口腔保健計画の立 案方法を理解する (5) 筋機能療法の指導 方法を実施する	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【障害者歯科】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	堀部, 石井 医科歯 科総合 病院実 習指導 者	ユニット1 オリエンテー ション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習 学生としての適切な行動、 態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解 する 3) 臨床実地の修得目標を 明確にする 1) 身体障害者・知的障 害者・精神障害者・発達 障害者に対する接し方が 適切にできる 2) 歯科保健指導ができる	(1) 実習学生として心掛 けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行 動する意義を説明する (3) 臨床実地における自 己の目標を述べる (1) 各種障害者に対して 適切な接し方を行う (2) 障害者歯科診療補助 ができる	診療科の 診療目 的・診療 業務の理 解 (0.5 時間) 当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	認知(解 釈・問題 解決) 精神運動 (コント ロール) 情意 (反応・ 内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	堀部, 石井 医科歯 科総合 病院実 習指導 者者	ユニット3 [実習]	1) 身体障害者・知的障 害者・精神障害者・発達 障害者に対する接し方が 適切にできる 2) 歯科保健指導ができ る	(1) 各種障害者に対して 適切な接し方を行う (2) 障害者歯科診療補助 ができる	当日の実 習内容に 関して指 導者から フィード バックさ れた内容 について 整理する (1.0時 間/日)	精神運動 (コント ロール・ 自動化) 情意 (反応・ 内面化)

【口腔医療センター】

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1-28 29-56 57-84	4/13 (火) ～ 6/7 (月)	泉・黒木 口腔医療センター実習指導者	ユニット1 オリエンテーション [講義] ユニット2 [実習]	1) 臨床実地における実習学生としての適切な行動、態度を理解する 2) 臨床実地の意義を理解する 3) 臨床実地の修得目標を明確にする 1) 清掃指導を修得する 2) スケーリング・ルートプレーニングを修得する 3) 概形印象採得を実施する	(1) 実習学生として心掛けるべき態度を述べる (2) 診療の一員として行動する意義を説明する (3) 臨床実地における自己の目標を述べる (1) 口腔清掃指導ができる (2) 歯石除去を実施する (3) アルギン酸印象材の練和、トレーへの盛り付けを実施する	診療科の診療目的・診療業務の理解 (0.5時間) 当日の実習内容に関して指導者からフィードバックされた内容について整理する (1.0時間/日)	認知 (解釈・問題解決) 精神運動 (コントロール) 情意 (反応・内面化)
85-225	6/8 (火) ～ 2/10 (木)	泉・黒木 口腔医療センター実習指導者	ユニット3 [実習]	1) 清掃指導を修得する 2) スケーリング・ルートプレーニングを修得する 3) 概形印象採得を実施する	(1) 口腔清掃指導ができる (2) 歯石除去を実施する (3) アルギン酸印象材の練和、トレーへの盛り付けを実施する	当日の実習内容に関して指導者からフィードバックされた内容について整理する (1.0時間/日)	精神運動 (コントロール・自動化) 情意 (反応・内面化)